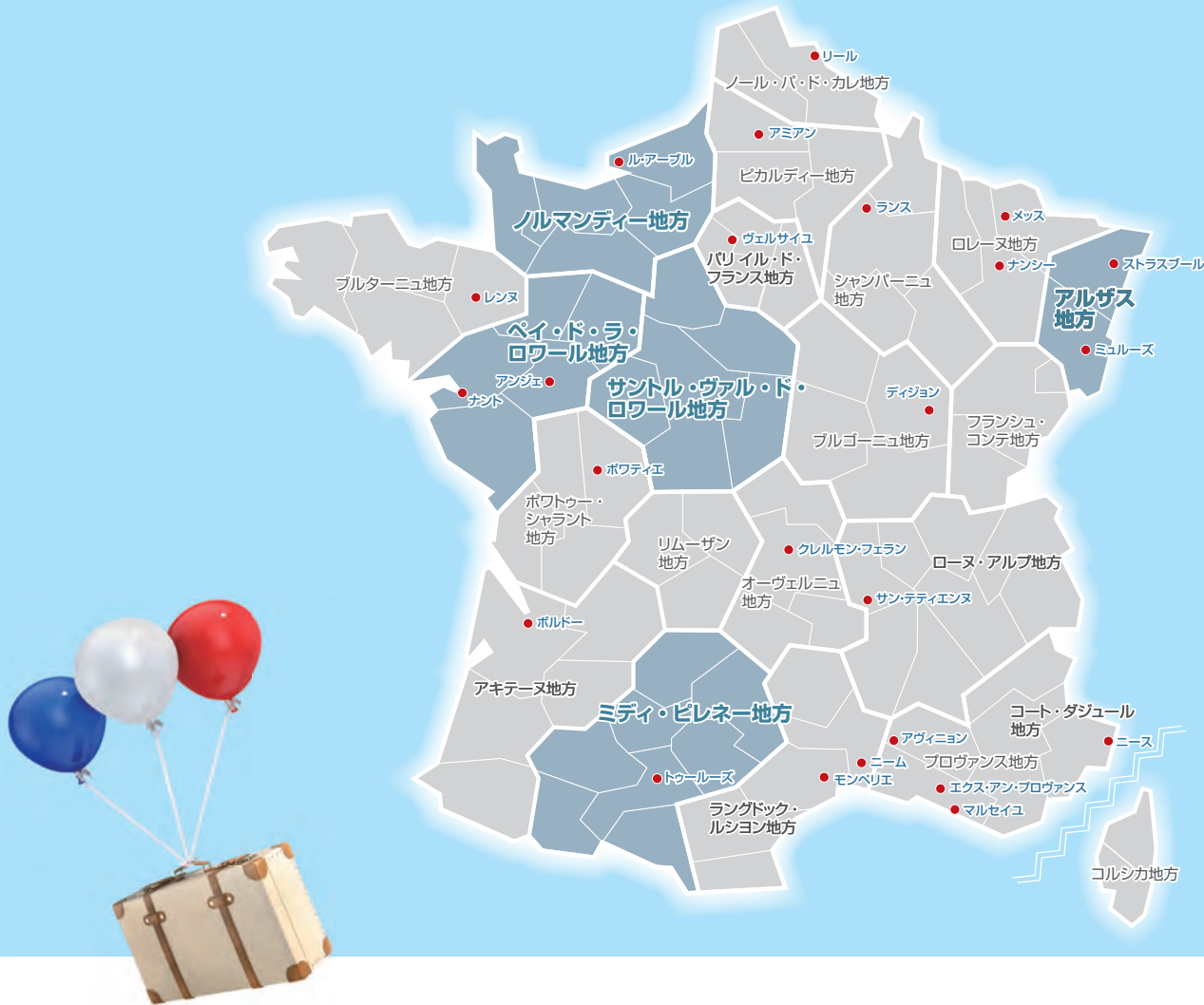




フ ラ ン ス の
旬 を 旅 し よ う 。

春夏秋冬、色めくフランス

La France : chaque saison, une émotion



春夏秋冬、色めくフランス La France : chaque saison, une émotion

2015 年キャンペーンパートナー



キャンペーン開催に向けて

フランス観光開発機構は今年、「春夏秋冬、色めくフランス」をキャッチフレーズに新たな観光キャンペーンを展開します。

日本と同じように四季の移ろいがあるフランスは、どの地方もよそとは異なる個性を持っていると同時に、どの季節にも違った表情を見せてくれます。春はジヴェルニーのモネの庭で印象派の世界に浸り、夏はビレネーでハイキング、秋はロワールのお城に泊まり、冬はアルザスやロレーヌでおとぎの世界のようなクリスマス市にわくわく…。フランスのさまざまな地方や都市をさまざまな季節に訪ねてみたら、きっと万華鏡をのぞいたような目くるめく発見が旅人たちを待っていることでしょう。もちろん、2015 年も美術館のリニューアルオープンなど新しい話題にも事欠きません。

この資料ではフランス各地の春夏と秋冬のアクティビティ、味覚、イベントを人物インタビューもまじえてご紹介しています。プレスの皆様には、こうしたフランス四季折々の魅力を読者・視聴者に熱くお伝えいただけますように！

「春夏秋冬、色めくフランス」 2015 年プレス資料

- 03 はじめに
- 04 2015年にフランスに行くべき15の理由
- 06 春と夏に楽しむ ミディ・ピレネー地方
- 08 ノルマンディー地方
- 10 フランスの街
- 12 ロワール古城地方
- 14 アルザス地方
- 16 秋と冬に楽しむ ミディ・ピレネー地方
- 18 ノルマンディー地方
- 20 フランスの街
- 22 ロワール古城地方
- 24 アルザス地方
- 26 新着情報 ミディ・ピレネー地方
- 27 ノルマンディー地方
- 28 フランスの街
- 29 ロワール古城地方
- 30 アルザス地方
- 31 「春夏秋冬、色めくフランス」キャンペーンパートナーリリース
- 36 Annex 2015年主要特別展リスト
- 37 Annex フランスのホテル業界動向
- 38 Annex 2015～2016年主要イベントリスト
- 43 Annex フランスのユネスコ世界遺産リスト

目次

2015-16年にフランスを訪れるべき 15 の理由



1 従来の姿を取り戻したモン・サン=ミッシェル

10年以上続いた工事がようやく終了し、モン・サン=ミッシェルは陸地から完全に切り離された島となって、満潮時には回りをすっかり海で囲まれるようになった。www.discover-montsaintmichel.com

「パノラマ XXL」 © Asisi



2 ルーアンにパノラマ XXL オープン

2014年12月より、ルーアンに「パノラマ XXL le Panorama XXL」と呼ばれる新しい観光アトラクションがセーヌの川沿いに登場。360度の巨大スクリーンを有する文化施設で、油彩画、デッサン、デジタル写真などさまざまな技法が駆使された巨大な映像作品が上映される。www.panoramaxxl.com



フィルハーモニー・ド・パリ © W. Beaucardet

3 フィルハーモニー・ド・パリ 2015年1月14日オープン

ラ・ヴィレット公園内にパリ管弦楽団の本拠地となる大規模音楽施設フィルハーモニー・ド・パリ Philharmonie de Paris がオープンした。ジャン・ヌーヴェル設計による音響効果の素晴らしいホールで、豪華な公演ラインアップが予定されている。www.philharmoniedeparis.fr/en

フランソワ 1 世即位 500 年



4 フランソワ 1 世即位 500 年

即位 500 年を記念して、フランソワ 1 世ゆかりのプロア城やアンボワーズ城で、フランソワ 1 世をテーマにしたイベントや特別展が開催される。
www.francois1er.org

5 ショーヴェの洞窟のレプリカ完成、4月25日より一般公開

2014年にユネスコの世界遺産にも登録されたショーヴェの洞窟 Grotte Chauvet。5キロほど離れた地点にレプリカが完成し、4月25日から一般公開が始まる。さまざまな動物など、3万6000年前にクロマニヨン人たちによって描かれた1000点ほどの絵がオリジナルと全く変わらず再現されている。
www.lacavernedupontdarc.org/en

6 パリの人類博物館リニューアルオープン 2015年秋予定

現在全面リニューアル工事を実施中の人類博物館 Musée de l'Homme。再オープン時には最新技術を駆使した展示がなされ、パリの文化と科学の中心的な存在となるはずだ。数々のシンポジウムや講演会、講義、討論会、上映会も企画されている。
www.museedelhomme.fr/

7 ロダン美術館 リニューアルオープン 2015年秋予定

現在大規模な改修工事を実施しているロダン美術館 Musée Rodin は工事終了後には年代別、テーマ別の展示がなされ、世界でも最も充実したロダンの作品コレクションをより良いコンディションで鑑賞できるようになる。www.musee-rodin.fr/en

8 ルイ 14 世没後 300 年

ヴェルサイユ宮殿にて特別展「国王崩御！(Le roi est mort)」開催。2015年10月26日～2月21日
1715年9月1日に崩御したルイ 14 世の没後 300 年を記念し、世界各地から第一級品の美術品や歴史資料が集められ一般公開される。ほとんどの展示品が初公開となる貴重な特別展。jp.chateauversailles.fr

9 第 1 回「テイスト・オヴ・パリ」開催 5月21日～24日

ギー・サヴォワやステファニー・ル＝ケレック、ジョエル・ロビュション、小林圭といった名だたるシェフの料理が予算わずか 25 ユーロから 95 ユーロで楽しめる料理フェスティバル。グランパレに人気シェフ 14 名が一堂に集まり、2 皿あるいは 3 皿用意する。ロンドンで 2004 年に始まったイベントのバリ版。www.tasteofparis.info

10 ナポレオン、エルバ島脱出 200 年

初代フランス皇帝ナポレオン・ボナパルトが流刑先のエルバ島から 1815 年に脱出して 200 年となるのを記念し、ナポレオン街道各地でさまざまなイベントが開催される。記念トリアスロン、上陸再現イベント、記念香水発売、など、多技に渡るイベントが企画されている。uk.route-napoleon.com/BICENTENAIRE-2015

11 航空テーマパーク「アエロスコピア」オープン

2015 年 1 月に航空科学や技術をテーマにしたテーマパーク「Aeroscopia」がトゥールーズ近郊にオープンした。航空に関する技術や専門知識、テクノロジーに親しむことができ、7100 m²もの敷地には、30 機以上もの歴史的な航空機が展示される。
www.musee-aeroscopia.fr/en

12 ルイ・ヴィトン財団美術館オープン

2014 年 10 月にパリに現代アートの新たな殿堂、ルイ・ヴィトン財団美術館 Fondation Louis Vuitton が登場した。総ガラス張りで透明感のある大胆なコンセプトの設計は著名な建築家フランク・ゲーリーが手がけたもの。
www.fondationlouisvuitton.fr/ja

13 ジェローム・セドゥー=パテ財団オープン

無声映画に特化した映画関連施設、ジェローム・セドゥー=パテ財団 Fondation Jérôme Seydoux - Pathé。2 つのフロアーにわたり、展示室、研究部門、映写ホールなどがある。レンゾー・ピアノが設計を手がけた。
www.fondation-jeromeseydoux-pathe.com/

14 ウンターリンデン美術館 2015 年 9 月にリニューアルオープン!

アルザス地方のコルマルにある名高い美術館、ウンターリンデン美術館 Musée Unterlinden が 13 世紀建立の古い修道院である旧館と建築家ヘルツォーク&ド・ムーロンの設計による近代的な建物から成る美術館に生まれ変わる。www.musee-unterlinden.com

15 ギャラリー・ラファイエット百貨店 パリ・オスマン本店 リニューアル情報など

4 月：新スペース « Fashion Sport / ファッション・スポーツ » が本館 4 階にオープン
9 月上旬：紳士館 1 階に紳士靴売場がリニューアル・オープン
11 月上旬：ノエル・オープニングセレモニー
haussmann.gallerieslafayette.com/ja

ミディ・ピレネー



タルン川とアルビの街並み ©D.VIET / CRT Midi-Pyrénées

春夏に楽しむミディ・ピレネー

アルビ

2010年にユネスコ世界遺産に登録されたアルビ Albi。イタリアを思わせるような穏やかな気候とのんびりとした気質のアルビっ子が旅人を出迎えてくれる。街はかつての姿をそのままにとどめており、ヴィユー橋 le Pont-vieux やベルビー宮殿 le palais de la Berbie、タルン川にそびえたつレンガ造りの巨大なサント・セシル大聖堂 Cathédrale

Sainte-Cécile、トゥールーズ＝ロートレック美術館 Musée Toulouse Lautrec など見どころも多い。

南仏ゴシック様式の傑作と称えられるサント・セシル大聖堂は圧倒的な存在感を持って街を見下ろしており、アルビ市内のどこからでも見ることができる。サント・セシル大聖堂を背にして建つのがベルビー宮殿。元は司教館だったこの館は現在は1864

年にアルビに生まれたトゥールーズ＝ロートレックの美術館となっており、世界で最も充実したコレクションを誇る。17世紀に造園されたフランス式庭園も美しい。

アルビを訪れば、地元の人々の芸術に対する思いと日々を大切に送るエレガンスを感じることができるに違いない。

春夏に楽しむミディ・ピレネーのアクティビティー

ガヴァルニーのハイキング

ルルドからわずか数キロ行っただけで大自然を身近に感じることができるのがピレネー国立公園だ。ガヴァルニー・カール Cirque de Gavarnie は高さ1700メートルが14キロも続く巨大な壁。カールを囲むように3000メートル級の山々が連なり、山稜にはヨーロッパでもっとも大きな

滝(落差442メートル)があって迫力ある自然を楽しむことができる。ガヴァルニーでのハイキングは体力と所要時間に応じて1時間程度から難易度の高いものまでさまざまなプランが可能だ。

ガヴァルニー・カールは1997年にユネスコ世界遺産に登録された。



ガヴァルニー・カール ©D.VIET/ CRT Midi-Pyrénées



ガヴァルニー・カール ©P.THEBAULT/ CRT Midi-Pyrénées



ガヴァルニー・カール ©D.VIET/ CRT Midi-Pyrénées

春夏秋冬、色めくフランス

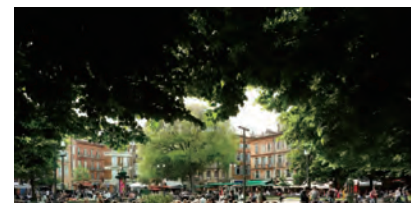
春夏に楽しむミディ・ピレネーの味覚

星付きシェフ、ミシェル・ブラスのセブナ「サンドイッチ」、ル・カピサン

夏にトゥールーズを訪れたらぜひとも行きたいのが、ミシュラン3ツ星シェフのミッシェル・ブラス Michel Bras が息子のセバスチャン Sébastien とともにオープンさせた「カピュサン・シニエ・ブラス Capucin signé Bras」だ。そば粉や小麦粉のクレープをコーンの形にし、カリカリとした食感とモチモチした食感が同時に味わえるカピュサンという軽食をメインにした

店である。キャプサンは注文を受けてその場で焼き、アリゴやフォアグラ、あるいはロックフォールチーズといった地元の食材を具にして巻いてくれる。新鮮でヘルシー、バランスのとれた食材を使う新しいタイプのファストフード店と言えるだろう。トゥールーズ限定の楽しみである。

6, rue du Rempart Villeneuve
31000 TOULOUSE
www.capucinbras.fr



トゥールーズ市内のテラスのカフェ ©D.VIET/ CRT Midi-Pyrénées



キャピトル広場のレストランのテラス席 ©D.VIET/ CRT Midi-Pyrénées



そば粉や小麦粉のキャプサン ©Capucin signé Bras

春夏に楽しむミディ・ピレネーのイベント

マルシアック・ジャズ・フェスティバル

ガス・コーニユ地方のマルシアック Marciac は13世紀まで歴史を遡ることのでき、三銃士の舞台ともなった古い村である。毎年ジャズフェスティバル Festival Jazz in Marciac が開催され、ヨーロッパにおけるジャズの都として名高い。

マルシアックの夏は過ぎやすく、フランス内外の有名ミュージシャンがスイングと夢をカバンに詰めてマルシアックにやってくると、ますます賑やかで楽しくなる。8月の最初の2週間はジャズ一色となり、村内でダイアナ・クラール Diana Krall やジョージ・ベンソン George Benson、マー

カス・ミラー Marcus Miller、リシャール・ガリアーノ Richard Galliano など有名プレイヤーとすれ違うことも稀ではない。チケットの予約は今からどうぞ！

www.jazzinmarciac.fr/jp



マルシアック・ジャズ・フェスティバル ©F.VERNHET / Jazz in Marciac



マルシアック・ジャズ・フェスティバル ©F.VERNHET / Jazz in Marciac



マルシアック・ジャズ・フェスティバル ©F.VERNHET / Jazz in Marciac

人物インタビュー

2010年、2011年とマルシアック・ジャズフェスに参加した上原ひろみさん

マルシアックのジャズフェスティバルのことを教えてくれたのは私の師匠であるジャズ界の巨匠アーマッド・ジャマルさんです。世界最高級のフェスティバルで、ひろみも気に入るはず、と仰っていました。参加してみると音楽と人生への愛に溢れていて素敵なフェスティバルでした。マルシアックのフェスティバルの持つ雰囲気にもとても良い影響を受けています。



マルシアック・ジャズフェスに参加した上原ひろみさん ©Jazz in Marciac / Francis VERNHET

www.midipyrenees-kanko-spot-tokusen.jp
jp.rdvf.com/presse2015



欧州連合共創プロジェクト
欧州地域開発基金がミディ・ピレネー地方を支援。

printemps / été

ノルマンディー



ジヴェルニー モネの邸宅と庭園 ©Fondation Claude Monet, Giverny - tous droits réservés

春夏に楽しむノルマンディー

ジヴェルニー モネの邸宅と庭園

ノルマンディー地方の持つ独特な光によって生まれたのが、19世紀の美術運動、印象派である。ウージェヌ・ブーダン、オーギュスト・ルノワール、ギュスタヴ・クールベ、カミーユ・ピサロなど多くの画家たちがノルマンディー地方ならではの光と風景に触発されて創作活動をおこなった。クロード・モネももちろんそのうちの一人で、ノルマンディー地方にあるジヴェルニーに長年暮らした。

モネの家と庭は美術を愛する人にとっての聖地と言っても過言ではないだろう。2011年にチーフガーデナーに着任したジェームス・プリースト氏は「モネが絵を描くように造園していた」ことを直ちに確信したと言う。

2016年4月16日から9月26日にはノルマンディー地方全域で印象派フェスティバルが開催され、ジヴェルニーをはじめ、印象派に関連したあらゆるスポットの魅力が紹介される。絵画だけではなく、現代アー

トや音楽、映画、演劇、ダンス、写真、ビデオ、文学などあらゆる芸術に着目し、文化的な要素が強いフェスティバルであるが、同時に楽しく遊べる企画も多い。音と光のスペクタクルや草上の昼食会、音楽を演奏しダンスが踊れる店ギャングットオープンなど盛りだくさんだ。第三回目となる次回のフェスティバルのテーマは「印象派の肖像画」。

www.normandie-impressionniste.eu

春夏に楽しむノルマンディーのアクティビティ

モン・サン・ミッシェル湾を素足で渡る

ユネスコ世界遺産に登録されている唯一無二の史跡モン・サン・ミッシェルを最大限に満喫できるのが、徒歩によるモン・サン・ミッシェル湾の散策である。かつて巡礼者たちが歩いたおよそ6〜7キロの道の

りを実際に辿ってみれば、潮の満ち引きや砂州、生息する野生の鳥などモン・サン・ミッシェルの自然や文化を肌で感じる事ができるに違いない。モン・サン・ミッシェルから数キロ先にある花崗岩の小島、トンブレーヌ Tombelaine の伝説や歴史にも触

れられるだろう。2015年には完全な離れ小島となるモン・サン・ミッシェルの麓まで歩いてツアーは終了する。必ずガイド率いるツアーに参加すること。



モン・サン・ミッシェル湾を素足で渡る ©Andrea Solter



www.discover-montsaintmichel.com

春夏秋冬、色めくフランス

春夏に楽しむノルマンディーの味覚

シードル、シードル街道

古城や城館、木組みの古い家が点在し、道沿いにリンゴ園が続く、ノルマンディーならではの絵ハガキのような美しい風景を楽しめるのがオージュ地方 Pays d'Auge だ。馬の産地としても名高く、有名な種馬牧場があることでも知られている。オージュ地方はまた AOC 原産地保護呼称のつ

いたシードルの産地でもあり、シードル街道と呼ばれる観光ルートが40キロに渡って続く。街道沿いに点在する20軒ほどのリンゴ果樹園では「カンブルメールのクリュ Cru de Cambremer」という標識を掲げている。観光客を受け入れ、セラーの見学や試飲をさせてくれる果樹園である。



シードル ©Eric Lorang



シードル街道 ©Andrea Loh



ブーヴロン・アン・ノージュ Beuvron-en-Auge ©Andrea Solter

春夏に楽しむノルマンディーのイベント

ドガは印象派画家か？

Degas, un peintre impressionniste ? 2015年3月27日〜7月19日開催

ジヴェルニーのモネの家から徒歩5分の場所にある印象派美術館でドガ展が開催される。

エドガー・ドガは印象派絵画の中心人物のひとりでありながら、グループ内の他の画家や、印象派の特徴といえる野外制作とは一定の距離をとり続けた。ドガは、踊り子の躍動する肉体などの個人的なモチーフにフォーカスをあて、人工照明にこだわる点で、他の画家と一線を画していた画家だ。ドガは確かに印象派画家であったが、何よりも前衛芸術家だったのだ。

オルセー美術館の協力のもと展示される今回の70点の作品(絵画、パステル画、素

描、彫刻)は、「古典的な修行時代」「印象派として」「風景画をめぐる」「1890年以降の印象派との関係」という主に4つのテーマで構成される。

ジヴェルニー印象派美術館

Musée des Impressionnismes Giverny
住所：99, rue Claude Monet 27620 GIVERNY
Tel：02.32.51.94.65
www.mdig.fr



©Musée des impressionnismes Giverny - tous droits réservés

人物インタビュー

ジヴェルニーのチーフガーデナー

ジェームス・プリーストさん James Priest

英国人のプリースト氏はジヴェルニーで働くことになるとは夢にも思っていなかった。プリースト氏が手がけていたのはプライベートな庭園、あるいは植物園だったからだ。しかし「全くアカデミックなところのない」ジヴェルニーの庭園にすっかり魅了されてしまったのだと言う。「ジヴェルニー来て3年になりますが、歴史家と芸術家、そして技術者の仕事を交互にやっているような感じです。絵の具箱を手にしているかのように色のパレットを調合し、モネのために働く気持ちです。スタッフ8名で牡丹やダリア、アイリスなどの花々の手入れをするほか、毎年珍しい品種を増やすように心がけています」とその情熱を隠さない。

www.fondation-monet.com/jp



ジヴェルニーのチーフガーデナージェームス・プリースト氏 ©Fondation Claude Monet, Giverny - tous droits réservés

www.normandie-tourisme.fr
jp.rdvef.com/presse2015



printemps / été

春夏

フランスの街ーフランスを感じる最良の方法



ナントのマシーン・ド・リル © Jean-Dominique Billaud LVAN



ナント市内のバサージュ・ボブレ
©Jean-Dominique Billaud - Nautilus/LVAN

春夏に楽しむフランスの街

ナントのマシーン・ド・リル

マシーン・ド・リル Machine de l'Île は 2007 年にナント島の旧造船所敷地内にできた前代未聞のアミューズメントパーク。海洋生物や怪物、昆虫、鳥、巨木などをモチーフにしたクリエイティビティに富んだアトラクションがいくつも用意されている。3 層にわたって奇怪な海洋生物が並びメリーゴーランドなど、マシーン・ド・リルのアトラクションにありきたりのものは

ない。圧巻は重さ 45 トン、高さは 12 メートルもある機会仕掛けの象。この象に乗っての散策はとびきり楽しいものだ。奇想天外なアトラクションを産み出している工房の様子も外から眺めることもできる。SF の父ジュール・ヴェルヌを生んだナントならではの大人も子供も夢中になれるテーマパーク。

www.lesmachines-nantes.fr
ナント観光局 www.nantes-tourisme.com

春夏に楽しむアクティビティ

ボルドーのワインスクールおよびワインバー

ボルドーを訪れたら、やはり是非とも楽しみたいのが世界に名だたるワイン。観光客でも気軽に参加できるワインスクールでボルドーワインの知識と理解を深めれば、ワインの美味しさも増すに違いない。

ボルドー・ワインスクールではワインのエキスパートがワインのテイスティングの

秘訣を教えてくれる。1 日講習から 2 時間の入門講習、夜間講習とバラエティーに富んだコースを用意しているので都合に合わせて参加しやすい。

講習を受けたら同じ建物内のワインバーへ。ボルドーワインの充実ぶりには目を見張るはず！ハムやサラミ、チーズと言ったおつまみと一緒にテイスティングを楽しもう。



©CIVB / Deepix



©OTB / Deepix

春夏秋冬、色めくフランス

春夏に楽しむ味覚

アンジェ コアントロー

オレンジの香りとまろやかな甘さが特徴のコアントロー。150 年前から同じ製法が守られているリキュールである。

コアントローの唯一の生産拠点はアンジェにあり、工場の見学を行うことができる。企業の歴史に関するビデオ上映に続いて、オレンジの皮の甘くてビターな香りが広がる蒸留器の設置してあるスペースを見学。さらに、非常に充実している販売促進用の宣材コレクションの見学や生産ライン

を見学し、コアントローの魅力の秘密に迫ることができる。

見学の最後の楽しみが和気あいあいとした雰囲気の中行われるコアントローの試飲。バーマンがコアントローと使ったカクテルのヒントなどをくれるに違いない。

www.cointreau.com

アンジェ観光局

www.angersloiretourisme.com



コアントローの工場 試飲スペース ©Carré Cointreau



アンジェ市内風景 (アダムの家) ©J.D Billaud - Angers Loire Tourisme

春夏に楽しむイベント

第 67 回 エクス・アン・プロヴァンス音楽祭 2015 年 7 月 2 日～21 日

エクス・アン・プロヴァンス音楽祭は、ザルツブルク音楽祭やグラインドボーン音楽祭、パイロイト音楽祭に並び称される、ヨーロッパ有数の音楽祭である。2015 年に第 67 回を迎える大変歴史ある音楽祭だ。

今年は、ヘンデルの「アルチーナ」やモーツァルトの「後宮からの逃走」、プリテンの「真夏の夜の夢」、チャイコフスキーの「イオランタ」、アナ・ソコロヴィッチの「婚

礼」、ジョナサン・ダヴの「迷宮の魔物」などが上演される予定。

入場料金：5 ユーロから 250 ユーロ。演目によって異なる。

予約・お問い合わせ：Boutique du Festival

TEL: +33 (0) 8 20 92 29 23

www.festival-aix.com

エクス・アン・プロヴァンス観光局

www.aixenprovencetourism.com



公演風景「ドン・ジョヴァンニ」 ©Pascal Victor Artcomart



公演風景 ©Andrea Loh



エクス・アン・プロヴァンス市内の風景 ロント広場 ©R. Cintas Flores



フェスティバル会場のひとつ、メニエ・ド・ベッド館 Hotel Maynier d'Oppède ©R. Cintas Flores

jp.media.rendezvousenfrance.com/ja/node/544
jp.rdvef.com/presse2015

Top
French Cities
The best way
to experience France

printemps / été

春夏

ロワール古城地方



シュノンソー城 ©FCharel - CRT Centre-Val de Loire

春夏に楽しむロワール古城地方

シュノンソー城

シュノンソー城 Le Château de Chenonceau はロワール地方に数ある古城を代表する名城である。この城をもっとも特徴づける光景は川をまたぐように築かれた回廊だが、城主がディアヌ・ド・ポワチエやカトリヌ・ド・メディスなど代々女性

たちであったことでも知られている。

シュノンソー城はまた名声を博した画家たちのコレクションを擁する本格的な美術館であり、文化の発信地としての役割も果たしている。フランドルのタピスリーのコレクションも見事だ。

iPod を利用して、日本語の解説を聞き

ながらの見学が可能。

シュノンソー城の詳細は次のサイトを参照されたい。ロワール地方の 21 の名城を紹介している。

www.loire-chateaux.jp

春夏に楽しむロワール古城地方のアクティビティ

ロワール・ア・ヴェロ(ロワール川沿いのサイクリング)

自然と史跡のいずれも満喫できるのが、サンセル Sancerre から大西洋までロワール河沿いに整備されたサイクリングロード。ロワールの古城や美しい街や村、そして豊かな田園地帯を縫うようにして 800 キロ続くサイクリングロードはコースの大半がユネスコ世界遺産に登録されている。手つかずの自然の中をサイクリングし、沈み行く夕日などを眺めたい。

家族連れでもカップルでも、若年層でもシニアでも老若男女楽しめるアクティビティだ。

www.biking-france.com/france/loire-valley



家族でブドウ畑をサイクリング ©JDamase - CRT Centre-Val de Loire

春夏秋冬、色めくフランス

春夏に楽しむロワール古城地方の味覚



ゲランドの塩田 ©Ph. Caharel



ゲランドの塩田 ©Viridg - Fotolia.com



ゲランドの塩田 ©D.Drouet

ゲランドの塩

海と太陽、そして風の賜物がロワールの宝とも言うべき、ゲランドの塩 sel de Guérande である。

ゲランドの塩は昔ながらの知恵を生かした技法で収穫されていることで知られている。収穫作業は機械を一切使用せずに全て手作業。ゲランドの半島には 2000 ヘクタールの塩田があり、250 名ほどのバリュディエ (塩職人) たちがきめ細やかな管理を行い、塩を生産している。ゲランドの塩には粗塩もあれば細粒塩もあり、色も白からグレーまでさまざまな種類がある。塩の粒の大きさは気象条件によって左右される。ゲランドの塩は料理の味を引き立てることで人気があり、多くの高名なシェフに愛用されている。

www.ot-guerande.fr

春夏に楽しむロワール古城地方イベント

光と音のスペクタクル

気候のいいシーズンになると、ロワールの古城の多くで「音と光のスペクタクル」が開催される。音楽に合わせ、宮廷衣装に身を包んだ人物たちによるショーや花火、あるいはプロジェクションマッピングなどが行われ、多くの観光客で賑わう。2015 年はブロワ城やシャンボール城、アンボワーズ城ゆかりのフランソワ 1 世即位 500 年に当たり、「音と光のスペクタクル」の多くがフランソワ 1 世の偉業をテーマしたものとなる。例年にも増して華やかなものになるに違いない。

- ・アンボワーズ城で開催されるスペクタクル「フランソワ 1 世の宮廷」は 7 ～ 8 月の水曜と土曜の夜開催。詳細は www.renaissance-amboise.com/a-la-cour-du-roy-article-1-0-2.html
- ・ブロワ城の夏の風物詩といえば、城の壁面を使ったプロジェクションマッピング「ブロワ城の物語」。フランソワ 1 世が作らせた螺旋階段はルネサンス建築の傑作。詳細は：
www.chateaublois.fr/?Fantastic-show&lang=en

www.francois1er.org



フランソワ 1 世 即位 500 周年イベントのポスター



アンボワーズ城のスペクタクル「フランソワ 1 世の宮廷」 ©CMouton



ブロワ城プロジェクションマッピング「ブロワ城の物語」 ©EMangeat - CRT Centre-Val de Loire

人物インタビュー

ヴィランドリー城のオーナー アンリ・カルヴァロさん Henri Carvallo

私の祖父が 20 世紀初頭にヴィランドリー城を買い取った時、庭園は荒れ放題で、生い茂った草木で城が見えないほどでした。祖父はそのような状態の庭園を整備し、計算し尽くされたルネッサンス様式の庭園として蘇らせたのです。3 層に分かれ、それぞれ異なったテーマでガーデニングされた庭園は誰もが楽しめ、樹木による迷路などは子供にも人気です。現在はチーフ・ガーデナーのロラン Laurent 氏をトップに 10 名のスタッフがヴィランドリー城の庭園を「100% オーガニック」にする仕事に挑んでいます。

www.loire-chateaux.jp



©Ivan Mathie - CRT Centre Val de Loire

www.loire-chateaux.jp
jp.rdvef.com/presse2015

Châteaux
de la Loire
France

春夏

アルザス



カイゼルスベルグ ©AAA-Meyer

春夏に楽しむアルザス

冬の寒さが遠のき、春の訪れが日増しに強く感じられる季節ならではの習わしを是非楽しみたい。

アルザスは、太古の昔から春分や秋分を大切にし、自然の移り変わりや大地との結びつきを密接に感じてきた土地柄である。そんなアルザ

スで、春の目覚めをまず伝えてくれる行事は、キリスト教と古くから民間に伝わる習俗が深く結びついた復活祭だ。

夏は美しく、日も長い。アルザスのワインを楽しむ絶好の季節である。各地で楽しげなワイン祭りが開催され、アルザスならではの伝統に

触れることができる。ワイン街道沿いのワインセラーはどこも大きく扉を開き、ワインの試飲や見学も大歓迎。パレードが華やかに開催されることもある。村ごとに異なるワイン祭り巡りをするのも楽しそうだ。

春夏に楽しむアルザスのアクティビティ

アトリエ・デ・シェフ料理教室

アトリエ・デ・シェフ料理教室で、アルザスならではの郷土料理を学ぶ滞在はいかがだろうか。自宅再現しやすい、簡単で美味しいアルザス料理を教えてくれる。教室で作った料理はお土産として持ち帰ってもいいし、教室で楽しんでも良い。併設されているショップでクグロフの型などを購入するのも楽しそうだ。

L'Atelier des chefs

39, rue du Faubourg de Saverne
F-67 000 STRASBOURG
TEL : +33 (0) 3 88 35 90 39
www.atelierdeschefs.fr



アトリエ・デ・シェフ料理教室 ©L'Atelier des Chefs



アトリエ・デ・シェフ料理教室 ©L'Atelier des Chefs

春夏秋冬、色めくフランス

春夏に楽しむアルザスの味覚

春のビール

アルザスはフランスにおけるビール産業の中心地である。1800年代にはストラスブールで250軒ものビール生産者が稼働していた。しかし、伝統的な製法のビールは近代的な生産に押されて次々と姿を消し、現在も残っているのはわずかに5社。だが、この5社でフランスのビールの56%を生産しているという。

3月にアルザスを訪れたら是非楽しみたいのが「春のビール Bière de printemps」だ。文献によると初めて「春のビール」が作られたのは600年ほど前のことである。冷蔵庫の無かった時代、10月に収穫された大麦を冬の寒さの中で保存し、熟成が終わった3月にビールを楽しんでいたのである。現在でもこの伝統が残っており、3月1日から31日までの期間限定で初物ビールが販売される。生産量も少ないレアなビールを楽しみながら、春の訪れをアルザスで迎えよう。



春夏に楽しむアルザスのイベント

第27回コルマル国際フェスティバル 2015年7月3日~14日

ヨーロッパの有数のクラシック音楽フェスティバルが、7月前半にコルマルで開催される。世界に名だたる巨匠から新進気鋭の音楽家が一堂に集まり、コルマルの街は音楽に満たされる。2015年はフラン

スが世界に誇るトランペット奏者、モーリス・アンドレ Maurice André にオマージュを捧げたプログラムが特集される。14世紀から15世紀にかけて建てられたコイフス Le Koïfhus (旧税関)、やはり14世紀のサン・マティユー教会 Eglise Saint Mathieu など、市内に残る由緒ある史跡が

会場であるのも魅力的だ。

コルマル国際フェスティバル
Festival International de Colmar
www.festival-colmar.com



コルマル国際フェスティバル
© bernard truhinsholz - OT Colmar



コルマル国際フェスティバル
© bernard truhinsholz - OT Colmar

人物インタビュー

オーベルジュ・ド・リルの3ツ星シェフ マルク・エベルランさん Marc Haeberlin

1967年以降48年もミシュランの3ツ星を維持している高級ホテル、オーベルジュ・ド・リル Auberge de L'III。シェフはアルザス出身のマルク・エベルランさんだ。「代々料理人の家に生まれ、私は4代目なんです。料理好きなのは父から受け継ぎました」と言う。一家は代々地元で親しまれていたレストランを経営していたのだ。「伝統とモダンのバランスをうまく取りながら、父の考案した料理を作るのが好きです」と語る情熱のシェフの創り出す料理を、アルザスならではの新鮮な空気と美しい自然に囲まれたレストランで楽しみたい。

オーベルジュ・ド・リル Auberge de L'III

住所 : 2, rue de Collonges au Mont d'Or, 68970 ILLHAEUSERN
TEL : +33 (0) 3 89 718 900 www.auberge-de-l-iii.com



オーベルジュ・ド・リルの3ツ星シェフ、マルク・エベルランさん ©Tschan

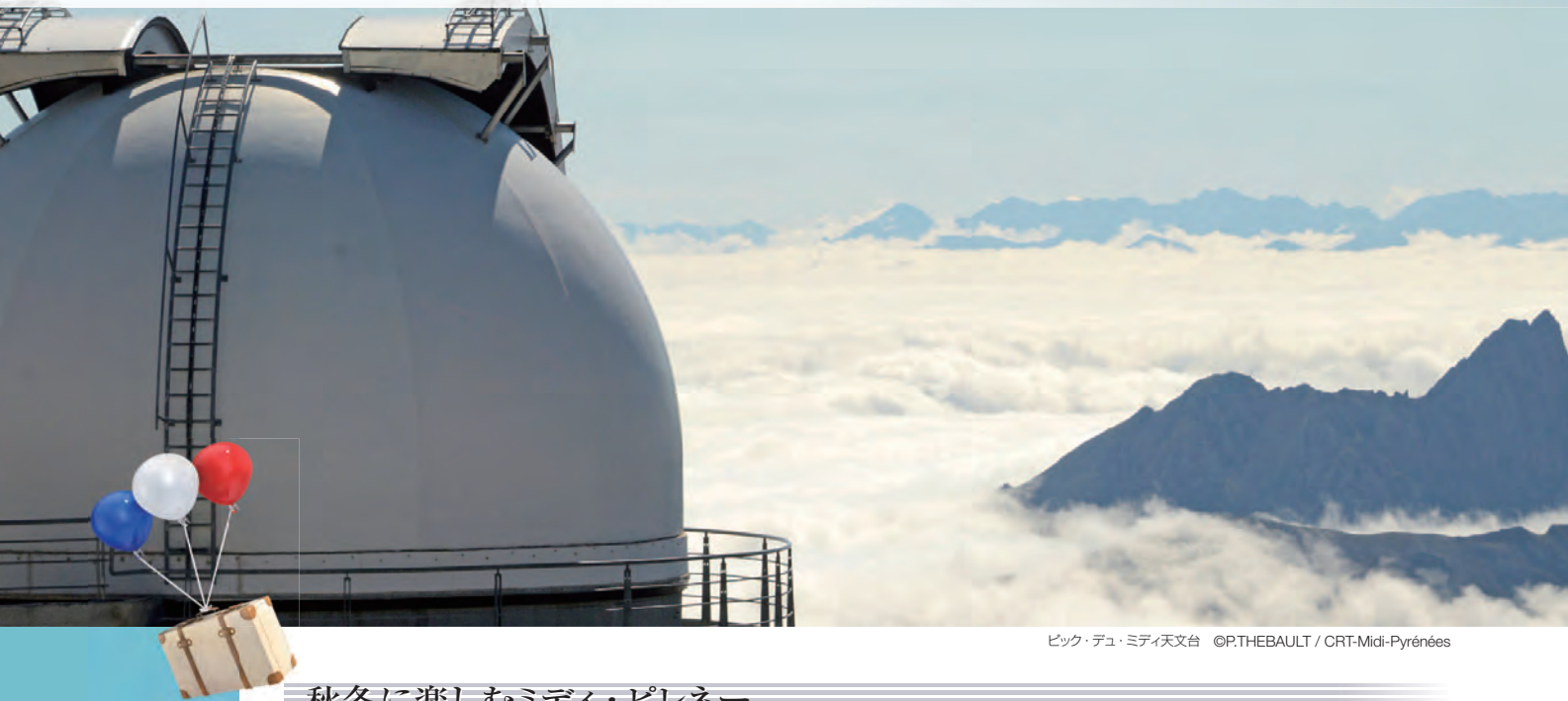
www.tourisme-alsace.com/en/press-contact
jp.rdvef.com/presse2015



printemps / été

春夏

ミディ・ピレネー



ピック・デュ・ミディ天文台 ©P.THEBAULT / CRT-Midi-Pyrénées

秋冬に楽しむミディ・ピレネー

雪景色のピック・デュ・ミディ

高山が連なるピレネー山脈でひと際目立つのが標高2877メートルのピック・デュ・ミディ Le Pic du Midi。頂上には天文台があり、ロープウェイで誰でも登ることができる。眼下を雲が流れるほどの高さになると切り立った岩山が目に入ってくる。素晴らしい眺望を堪能したい。

ピック・デュ・ミディの頂上は長らく研究者を除いて誰も訪れることがなかったため、空気はどこまでも澄み、静謐な雰囲気に満ちている。テラスからは地中海から大西洋まで300キロに渡って続くピレネー山脈の大パノラマを楽しむことができる。

ピック・デュ・ミディに天文台が設けられたのは19世紀の終わりのことだ。博物館が併設されており、天体観察や気象、天文台の歴史などについての本格的な展示がある。この博物館はヨーロッパで最も標高



ピック・デュ・ミディ天文台からの眺め ©D.VIET/ CRT Midi-Pyrénées

の高い場所にある博物館として知られている。

天文台には宿泊することもでき、世界で最も澄んでいると言われる夜空を楽しむこともできる。



ピック・デュ・ミディ天文台 ©D.VIET/ CRT Midi-Pyrénées - HPTÉ

秋冬に楽しむミディ・ピレネーのアクティビティ

ミヨーにある高級手袋ブランドでアトリエ見学

アヴェロン県の南部にあるミヨー Millau は世界一高い高架橋があることで知られているが、高級手袋の産地としても名高い。

エレガントなミヨー産の手袋はすでに18世紀から貴族たちを魅了し、ジャッキー・ケネディーやスティーブ・マックイーンも愛用していた。現在も高級ブランドのクリエイターたちが常に熱い視線を注いでいる。

ミヨーの手袋の評価を高めるのに大きく寄与したのが手袋工房のメゾン・コース・ガンティエ Maison Causse Gantier である。クリエイティビティに富んだ手袋を非常にこだわりを持って作っている工房で2012年にユネスコによって、無形文化遺

産のひとつである工芸稀観職一覧に追加され、2013年にシャネルに買収された。

Causse Gantier
www.causse-gantier.fr/en/



高級手袋ブランド、コース ©Causse Gantier

春夏秋冬、色めくフランス

秋冬に楽しむミディ・ピレネーの味覚

カスレ

トゥールーズの郷土料理であるカスレ Le cassoulet は、かつては農民たちが日常に食していた料理である。

カスレはヘルシーで消化に良い料理だが、調理に大変な忍耐を必要とする。トゥールーズの伝統的な作り方にのっとって本物のカスレを作ろうとすれば4時間はかかるという。食べる時も時間をかけてゆっくりと味わいたい。主な食材は白インゲン豆で、トロトロになったカモのコンフィや豚のすね肉、あるいはトゥールーズ産のソーセージとよくなじむ。各種スパイスを入れ、とろ火で長時間ゆっくりと煮た後、カスレ le cassoulet と呼ばれる土鍋ごとオープンに入れる。香ばしく焼き色がついたら、サービスする。



カスレ ©D.VIET/ CRT Midi-Pyrénées

秋冬に楽しむミディ・ピレネーのイベント



スミレ祭り ©D.VIET/ CRT Midi-Pyrénées

トゥールーズのスミレ祭り

冬に花開き、五感を楽しませてくれるスミレはトゥールーズを代表する花である。19世紀の頃よりトゥールーズの人々はスミレを愛でてきたが、今でも街の周辺にはスミレ農家が点在している。現在、スミレは菓子やリキュール、お茶などの食材あるいはコスメ用品など多方面で重用されている。スミレは注目を浴びる旬な花となったのだ。

2月の中旬にはトゥールーズのキャピトル広場 Place du Capitole で2日間に渡り、スミレ祭り Fête de la violette が開催される。スミレの街トゥールーズを訪れる絶好の機会となるはずだ。



スミレ祭り ©D.VIET/ CRT Midi-Pyrénées

人物インタビュー

メゾン・ド・ラ・ヴィオレットの店長 エレーヌ・ヴィエさん Hélène Vié

トゥールーズ市内でスミレをテーマにしたブティックを開いているエレーヌ・ヴィエさん。「トゥールーズでは毎年スミレを祝う祭りが行われています。2月に咲く花なので、愛や敬意の象徴としてバレンタインデーに贈り合う人も多いです。スミレ月間である2月、メゾン・ド・ラ・ヴィオレット Maison de la Violette では、スミレの育て方を教わることのできる園芸教室やスミレを使った料理講習などを開催していますので是非ご参加ください」

www.lamaisondelaviolette.com



メゾン・ド・ラ・ヴィオレットの店長、エレーヌ・ヴィエさん ©Maison de la Violette - Jardin d'Elen

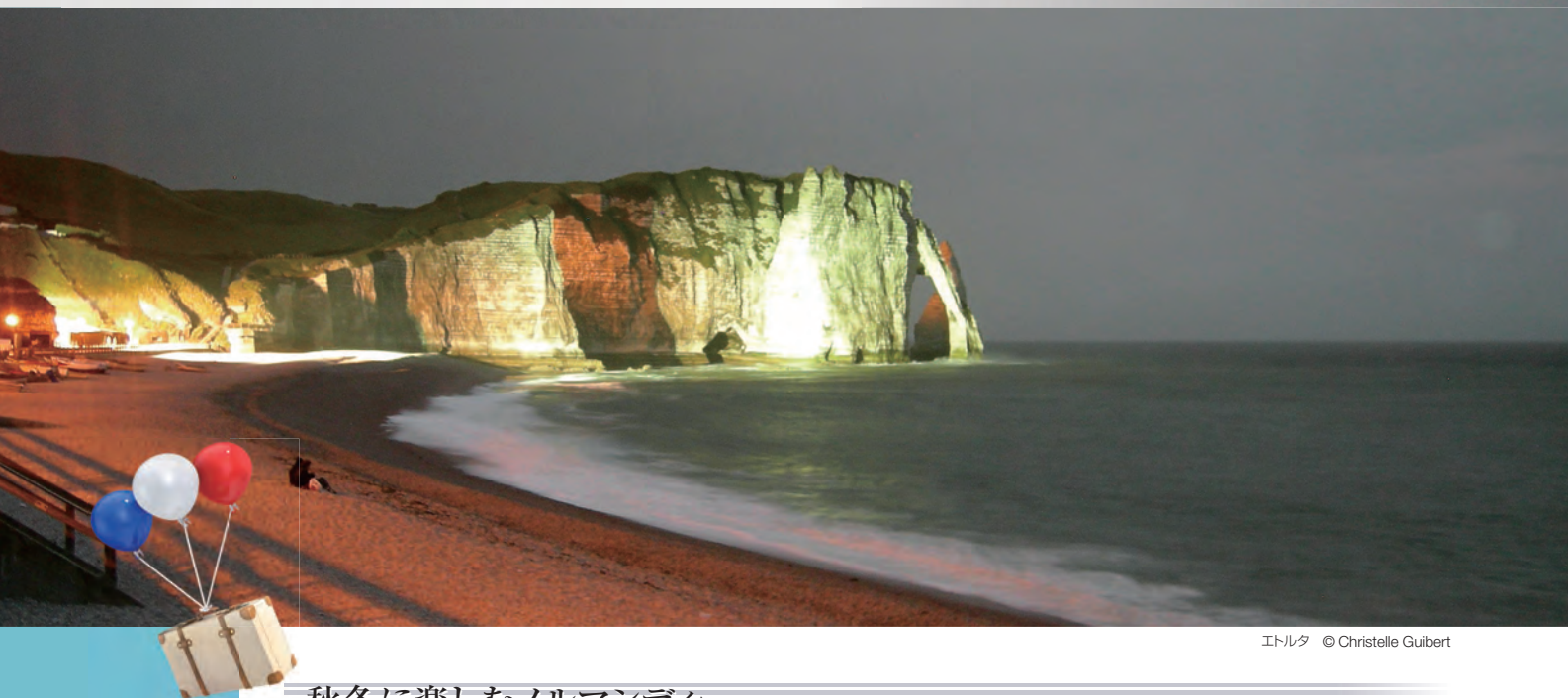
www.midipyrenees-kanko-spot-tokusen.jp
jp.rdvef.com/presse2015



欧州連合 共同プロジェクト
欧州地域開発基金がミディ・ピレネー地方を支援。

automne / hiver

ノルマンディー



エトルタ © Christelle Guilbert

秋冬に楽しむノルマンディー

エトルタ

秋から冬にかけて、ノルマンディー地方はどこにも増して、穏やかで暖かな雰囲気に包まれる。夏の喧噪から一転、落ち着きを取り戻したノルマンディーでは、日常のストレスから解き放たれ、リラックスした数日間を過ごすことができる。秋や冬にノルマンディーを旅すれば、ありふれた時間から抜け出し、特別な体験をすることで

るはずだ。躍動的かつ穏やかな地方であるノルマンディーはまるで広大な庭のよう。新たな彩りに満ちた味わいを届けてくれる。秋はそこかしこに訪れる。オークやブナ、白樺、そして素晴らしい紅葉を見せてくれる日本原産のもみじなど、木々は見事な秋色へと変化していく。このような風景を愛でることができるのはノルマンディーだけである。

秋から冬にかけて特におすすめなのが多くの印象派を惹き付けたエトルタ Etretat。白亜の断崖に光が移ろう、世界で唯一無二の雄大な光景を満喫したい。エトルタの人気リゾートは閑散期を迎えひっそりとし、観光客の少ない断崖は夏期より野生的。神秘性を増した美しい風景は忘れられないものとなるはずだ。

www.normandy-tourism.org

秋冬に楽しむノルマンディーのアクティビティ

ルーアンでモネのように絵を描いてみる

ルーアン大聖堂の正面にあるモネの元アトリエで、モネのように大聖堂を描く。そのような夢のような体験が可能だ。1892年から94年にかけて、印象派の巨匠モネ

はルーアン大聖堂の正面にあったルーアン市の財務事務所（現在はルーアン観光局）で大聖堂のシリーズを手がけた。その同じ場所で、絵画教室が開催されている。画家であり造形美術家である講師が印象派につ

いて解説してくれ、モネが描いたのと同じ角度からモネと同じように大聖堂を描く指南をしてくれる。この教室に参加すれば貴重な体験を楽しめるに違いない。

www.rouentourisme.com



モネの元アトリエで絵画教室体験 ©Rouen Normandy Tourisme / Lange



ルーアン観光局の2階がモネの元アトリエ ©Rouen Normandy Tourisme / Lange

春夏秋冬、色めくフランス

秋冬に楽しむノルマンディーの味覚

小鴨のルーアン風

「小鴨のルーアン風」はノルマンディーを訪れたならぜひとも試してみたいルーアンを代表する郷土料理である。デュクレール Duclair にあるオーベルジュの元主人であったドニーズさん Père Denise の考案



小鴨のルーアン風 ©Rouen Normandy Tourisme / Lange

したレシピに基づき、小鴨はすべて客席で調理される。マスタードで味付けし、ローストおよびグリルしたあと、胸肉、もも肉、手羽先がシルバー製の器具「プレス器」によって切り分ける。全体を覆うようにルーアン風ソースをかけ、フランベして出来上がり。付け合わせはセロリのフランにオープンで焼き、カラメリゼしたリンゴ。カナルディエ騎士団に所属している鴨の専門職「カナルディエ」だけが、客の目の前で鴨をさばき、調理をし、盛りつけを行うことが許される。

www.rouentourisme.com



鴨用プレス機 ©Rouen Normandy Tourisme / Lange

秋冬に楽しむノルマンディーのイベント



ノルマンディー産のホタテ貝 ©Andrea Loh

秋冬ならではのグルメなマルシェに注目！（ホタテ、エビ、ニシンに満腹祭り…）

地元の食材のマルシェ、リンゴ祭り、ホタテ貝祭り……など、ノルマンディーでは食にまつわるイベントが開催されない週はない。特に秋や冬はリンゴやシーフードのおいしい季節。中でもノルマンディー産のホタテ貝は絶品である。9月末にはオンフルール Honfleur の美しい漁港でエビ祭り Fête de la Crevette、10月にはルーアンで満腹祭り Fête du Ventre et de la Gastronomie

normande が開催される。11月にポール・アン・ベッサン村 Port en Bessin で開催される遠海祭りではホタテを始めとするさまざまな魚介類が楽しめるほか、アルバートル海岸 côte d'Albâtre 沿いにくつもある港ではニシン祭りやホタテ祭りが行われる。ノルマンディーの内陸部ではリンゴ祭り、シードル祭りも盛んである。

www.normandy-tourism.org



ルーアンの市場 ©Andrea Solter



フェカンのニシン祭り ©OT Fécamp

人物インタビュー

「小鴨のルーアン風」を出すレストラン「キャトル・セゾン」の当主 ジュリアン＝マルシャル・ゲレさん Julien Marchal-Guéret

ルーアンの老舗レストラン、キャトル・セゾン 4 Saisons は代々ゲレ家がノルマンディー伝統の味を守り続けて来た。現在の当主、ジュリアン＝マルシャル・ゲレ氏は5代目。「ふるさとの食材を大切に、地元の昔ながらの料理を出しています」と言う。1933年に祖父のミッシェル・ゲレ Michel Guéret がカナルディエ騎士団を創設しました。以来メートル・カナルディエと呼ばれる専門職が世界に名だたる芸術的な料理を見事に調理してみせてます」と店の伝統を語る。



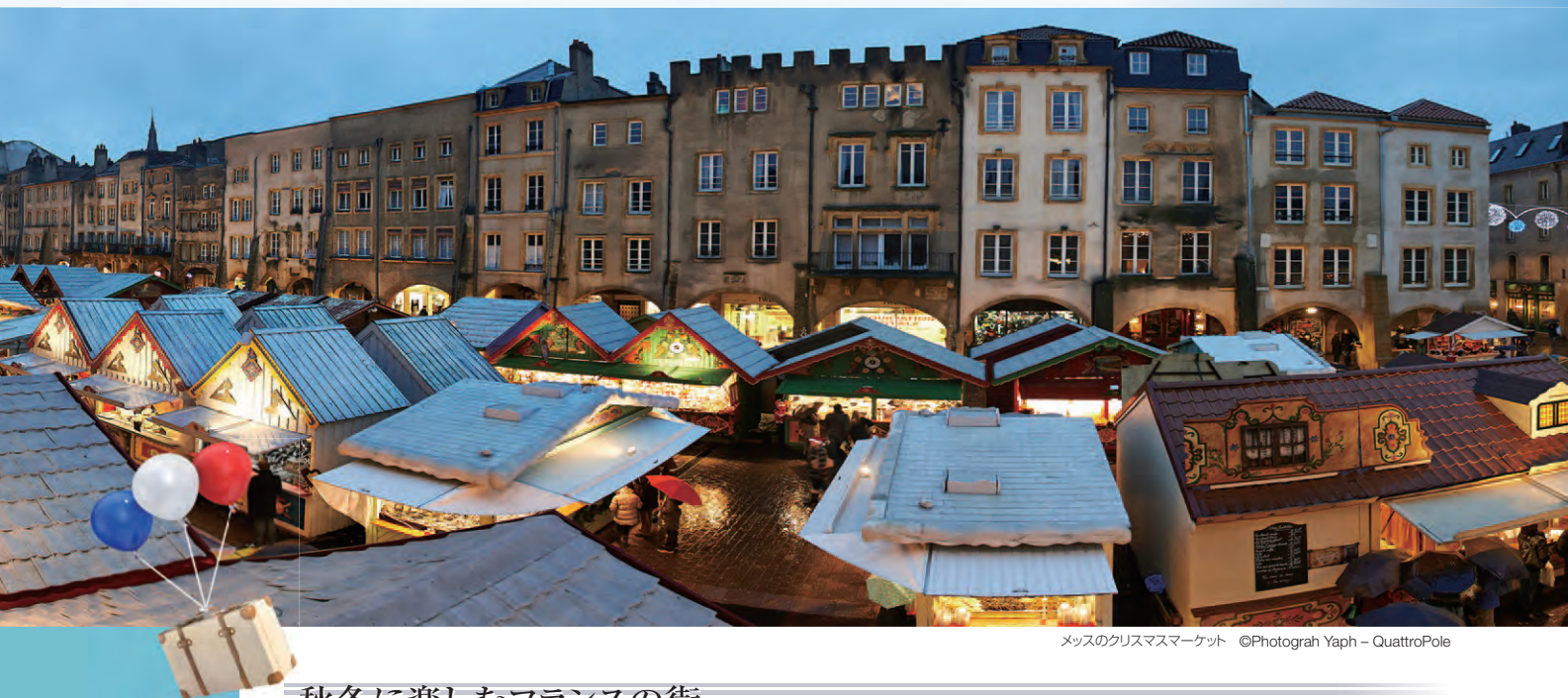
鴨をサーブするシェフ、ジュリアン＝マルシャル・ゲレ氏 Julien Marchal-Gueret © Rouen Normandy Tourisme / Lange

www.normandie-tourisme.fr
jp.rdvef.com/presse2015



automne / hiver

フランスの街ーフランスを感じる最良の方法



メツのクリスマスマーケット ©Photograph Yaph - QuattroPole

秋冬に楽しむフランスの街

メツのクリスマスマーケット

メツの冬の風物詩は聖ニコラの祭りとクリスマスマーケット。

12月最初の日曜日に行われるのが聖ニコラの祭り。聖ニコラはサンタクロースのモデルになったとされる実在の聖人で、良い子にご褒美のキャンディーやお菓子をプレゼントするという伝統行事だ。聖ニコラ

のバレードや花火、大聖堂前で「音と光のスペクタクル」なども開催され、街はすっかり楽しげな雰囲気に包まれる。

11月下旬から立つクリスマスマーケットも人気。約100ものスタンドがサン・ルイ広場、サン・ジャック広場、ド・ゴール広場など場所ごとに異なるテーマで美しく飾り付けられている。ホットワインを飲ん

で冷えた身体を温めながらぶらぶらするのが楽しい。

ブティックや商業施設はクリスマス前の3回の日曜日はオープンしているのでショッピングにも困らない。観覧車やスケートリンクも登場し、すっかり華やぐメツの街を楽しみたい。

メツ観光局 www.tourisme-metz.com

秋冬に楽しむアクティビティ

ヴェルサイユで香水作り体験

香水を作ること以上にミステリアスなことはあるだろうか？

ヴェルサイユ市内にある広場クール・デ・

サントゥール la Cour des Senteursにあるグランのブティックでは香水作りのさまざまな工程を紹介する講習会を開いている。大人も子供も参加可能だ。

■グラン・パルフェュール・クレアトゥール Guerlain Parfumeur Créateur 講習(1時間30分の講習、70ユーロ)：180年に渡るグランの伝統の舞台裏を覗くことができる。香水エキスパートが講師となり、香水で重宝される原料などを紹介する。

■レ・コント・パルフェュメ Les Contes parfümés 講習(半日の講習／100ユーロ、食事付き1日講習／230ユーロ)グランの香水エキスパートの指導による香水作り入門
詳細はクール・デ・サントゥールにあるグランのブティックまで

住所：8, rue de la Chancellerie - 78000 VERSAILLES
TEL：+33 (0) 1 30 84 14 60

ヴェルサイユ観光局
www.versailles-tourisme.com



クール・デ・サントゥール広場 ©Ville de Versailles / Nicolas Borel.

春夏秋冬、色めくフランス

秋冬に楽しむ味覚

マカロン

ナンシー市内にあるダム・デュ・サン・サクルマン修道会 communauté des Dames du Saint Sacrement の二人の助修女のレシピに基づいて作られたマカロンだけが、本家本元の「ナンシーのマカロン」を称す



スタニスラス広場 ©Ville de Nancy

ることができる。400年前にレシピが考案されて以来、多くの菓子職人や料理人が入手しようとしたが、今だにそれは明かされていない。

秘密のレシピを保持しているのはマカロンの老舗店であるメゾン・デ・スール・マカロン Maison des Soeurs Macarons のニコラ・ジェノ Nicolas Génot。卵の白身と砂糖、プロヴァンス産のアーモンドだけを使っているが、ミックスの案配は企業秘密。伝統の味を守り続けている。

www.macaron-de-nancy.com

ナンシー観光局
www.nancy-tourisme.fr



©Regine Datin

秋冬に楽しむイベント



路上での抱擁 ©Anne Milloux

ストラスブール・モン・アムール

フランスでも有数のロマンティックな街、ストラスブール。市内には素晴らしい史跡が点在し、木組みの家、絵のような小道や広場、橋のかかった運河などロマンティックな場所には事欠かない。いつの時代も多くの人々を魅了し、文豪ヴィクトル・ユーゴーやオノレ・ド・バルザック、ゲーテ、女優のジュリエット・ドルエなどもストラスブールの魅力に惹き付けられた人々だ。

そんなストラスブールで3年前より愛に満ちたイベント、ストラスブール・モナムール Strasbourg Mon Amourが開催されている。詩情に溢れ、文化的で洗練された魅力

いっぱいのイベントで、更にオフビートな部分もある。ストラスブールを初めて訪れる人はもちろん、すでに何度も訪れた事のある人もストラスブールの新しい顔に触れて欲しい。さまざまなパーティーや特別展、コンサート、料理教室など盛りだくさんのイベントが10日に渡って開催される。

ありきたりのバレンタインデーは終わり。ストラスブール・モナムールでロマンティックで愛に溢れた特別なひと時を！

www.strasbourg-monamour.eu

ストラスブール観光局
www.otstrasbourg.fr



パーティー風景 ©Philippe de Rexel



スービル橋(恋のささやき橋) ©Philippe de Rexel

人物インタビュー

メゾン・デ・スール・マカロン Maison des Soeurs Macarons ニコラ・ジェノさん Nicolas Génot

ラ・メゾン・デ・スール・マカロンだけに、ナンシーのマカロンの秘伝レシピが代々受け継がれています。少しひびが入るように焼かれたマカロンは、プロヴァンス産のアーモンドと砂糖、そして卵の白身だけで作るのが伝統です。当店はナンシーのマカロンの伝統的な製法を守る企業として、2012年にフランス政府より「無形文化遺産企業」として指定を受けました。



ニコラ・ジェノ氏

jp.media.rendezvousenfrance.com/ja/node/544
jp.rdvef.com/presse2015

Top
French Cities
The best way
to experience France

automne / hiver

ロワール古城地方



フォントブロー修道院 ©D. Darraut - Abbaye de Fontevraud

秋冬に楽しむロワール古城地方

フォントブロー修道院

フォントブロー修道院 Abbaye de Fontevraud がロワール河渓谷有数の美しい建造物であることに疑いの余地はない。12 世紀から 20 世紀にかけて建てられているので、さまざまな建築様式を見ることができる。プラタジネット朝ゆかりの修道院で、ヘンリー 2 世や

リチャード 1 世 (獅子心王)、アリエノール・ダキテーヌなどが埋葬されている。現在は高級ホテルに改装され、世界中からゲストを迎え入れている。

ロワール渓谷にはソミュールの国立乗馬学校カールドル・ノワールやブリサック城、ナントのブルターニュ公城など、ルネッサ

ンス時代や啓蒙時代を反映した古城や史跡が数多く残る。ロワールの古城はフランス史にたっぷりと浸ることができ、何度でも訪れたい場所だ。

www.fontevraud.fr

秋冬に楽しむロワール古城地方のアクティビティ

ブリサック城に泊まる

ブリサック城 Château de Brissac はフランスでも有数の巨大な城館として知られている。アンリ 4 世様式の城は 7 階建てで 2 つの大きな塔があり、部屋は 204 室もある。「ロワール河の巨人」という異名にも納得させられる。城主は 13 代前から変わらずブリサック公が務めている。フランス国

王や王妃も滞在したブリサック城は宿泊が可能で、泊まれば 16 世紀の城の生活を体験することができるだろう。昔の家具がそのまま残る部屋や金箔や絵画による豪華な装飾には目を見張るに違いない。庭園やイタリア風の劇場も見逃せない。

www.chateau-brissac.fr



巨大な城館、ブリサック城 ©Château de Brissac



ブリサック城外観 ©Château de Brissac



ブリサック城の内部 ©Château de Brissac

春夏秋冬、色めくフランス

秋冬に楽しむロワール古城地方ロワール味覚

ロワールワインとタルト・タン

ロワール渓谷は 79 もの AOC ワインがあり、豊かな食文化が楽しめる地方である。

400 以上のワインセラーが点在するワイン街道では、見学や試飲を楽しみたい。どのセラーも喜んでもてなしてくれるはずだ。サンセール会館 Maison des Sancerre では工夫の凝らした展示でサンセールワインを紹介していて興味深い。そのほか、シュヴェルニー

Cheverny、トゥール Tours、ソミュール Saumur、アンジェ Angers、ナント Nantes にあるワイン会館でも独特な試飲方法を導入しているので是非試してみたい。

またロワールでは、タン姉妹の失敗作から生まれたという有名なタルトタンも是非味わいたいスイーツだ。

www.vinsdeloire.eu

www.vins-centre-loire.com



タルトタン ©TMartrou - CRT Centre-Val de Loire



ブドウの収穫風景 ©TMartrou - CRT Centre-Val de Loire



ワイナリーで試飲を楽しむ ©EMangeat - CRT Centre-Val de Loire

秋冬に楽しむロワール古城地方のイベント



ラ・フォル・ジョルネ ©Marc Roger

ラ・フォル・ジョルネ

ラ・フォル・ジョルネ La Folle Journée はナントで開催されるクラシック音楽のフェスティバルで、5 日間で 310 ものコンサートが開かれる。より多くの人にクラシック音楽に関心を持ち、親しんでもらうべく始められた音楽祭だ。毎年 1 月末から 2 月始めにかけて開催され、本格的なコンサートに足を向けるのは物怖じしてしまうという人に対して優しい手を差し伸べている。海外でも同種の音楽祭が催されており、特に東京のラ・フォル・ジョルネは有名である。

www.follejournnee.fr



ラ・フォル・ジョルネ ©Marc Roger



ラ・フォル・ジョルネ ©Marc Roger

人物インタビュー

サヴェニエール Savennières のワイン生産者

テサ・ラロッシュさん Tessa Laroche

私たちのワイナリーは名称をル・ドメーヌ・デ・モワヌ Domaine aux Moines (修道士たちのドメーヌ) といいます。ワイナリーのブドウの木が、1132 年にサン・ニコラ・ダンジェ Abbaye Saint-Nicolas d'Angers の修道士たちの手によって植えられたことに因ってつけられました。私の両親が 1981 年にドメーヌを買い取り、2003 年に私が母の後を継ぎました。このワイナリーでは女性たちが主導権を握っているのです。そのことはワインにも影響していて、ここで生産されるワインは女性のような性格をしているんですよ！



©Jean-Claude Moschetti - jcm.viewbook.com

www.loire-chateaux.jp
jp.rdvef.com/presse2015

Châteaux
de la Loire
France

automne / hiver

アルザス



ワイン街道風景 ©CRT Alsace / Zvardon

秋冬に楽しむアルザス

アルザスの魅力的な村を通るワイン街道。ブドウ畑が連なる美しい風景を満喫したい。

ブドウ畑にぐると囲まれた村、リクヴィール Riquewihr はまさに「ブドウ畑の真珠」の異名を裏切らない。古く 16 世紀に建てられ

た家々が連なり、アルザス随一の美しい村と言えよう。夏の喧噪を避けてオフシーズンに訪れれば、さらにその絵のような美しさを堪能できる。石造りの屋敷や小さな小道、噴水や井戸など見どころに尽きない。リクヴィール周辺はリースリングの栽培地。スポレン

Sporen やシュネンブルグ Schonenbourg など極上ワインを産出する有名グラン・クリュがある。周辺のワイナリーでは見学や試飲も楽しめる。

秋冬に楽しむアルザスのアクティビティ

アルザスでスパ

訪れるものに豊かな自然の恵みを与えてくれるアルザス。ワインはもちろん、その代表となるものだ。しかし、水源がいくつもあるアルザスは、水も大切な恵みである。何百年もの間、水はさまざまな効能を人間にもたらし

てきた。水による健康法が盛んであり、スパ施設も充実している。アルザスがそのような「スパの里」であることはまだまだ知られていないが、アルザスのスパ協会 Spa in Alsace ではスパ施設のプロモート活動を積極的に行い、知名度を上げる努力を行っている。施設

やサービスの充実、提供するさまざまなケアやスタッフの教育などの支援も行っている。協会に加盟しているスパを訪れ、静謐な空間で心からリラックスし、旅の疲れを癒したい。

スパ協会 Spa in Alsace
www.spainalsace.fr



ホテル・スパ、ラ・クレリエール La clairière ©Yves Trotzier



ラ・シュノディエール La Chenaudière ©JEROME MONDIERE

春夏秋冬、色めくフランス

秋冬に楽しむアルザスの味覚

シュークルート

アルザスと言えばシュークルート。郷土を代表する料理である。シュークルートの語源はアルザス語の「シュルクリュット」で、「シュル」は酸っぱい、「クリュット」はキャベツを意味する。

文献によれば、シュークルートの登場は 15 世紀に遡ることができる。16 世紀には修道院の食卓にものぼっていたと言う。

アルザス風シュークルートがアルザス以外の地方に広まったのは、アルザスがドイツと併合した 1870 年以降のことだ。併合に際して多くのアルザス人が故郷を去り、シュークルートがフランスの国民食となることにつながった。



©Creutz

秋冬に楽しむアルザスのイベント

クリスマスマーケット

世界で初めてクリスマスマーケットが開かれたのは 14 世紀頃のことである。フランス最古のクリスマスマーケットはストラスブールのマーケットで、1570 年に遡ることができる。その頃は、12 月 6 日に祝われる聖ニコラの日に向けて開催されていた。当時は 12 月 24 日は教会に行くだけで、聖ニコラが子供たちにプレゼントを配っていたのである。聖ニコラはトルコのミールという場所にいた実在の聖人で、サンタクロースのモ

デルとなった人物だ。

アルザスのクリスマスシーズンは 11 月末の待降節に幕をあげる。広場や沿道に立つスタンドには、もみの木やガラス玉、電飾やオモチャなどクリスマス用品が所狭しと並び、見ているだけで気持ちが華やぐ。

フランス最古のクリスマスマーケットが開かれるストラスブール、家々のバルコニーが美しく飾られるカイゼルスベルグをはじめ、コルマル、ミュルーズなど 30 ヶ所以上の街でマーケットが開かれる、寒さとも忘れ

させる賑やかな雑踏の中で、クリスマスの原風景が見えてくるかもしれない。



ミュルーズのクリスマスマーケット ©Catherine KOHLER



ストラスブール ©Strasbourg



カイゼルスベルグ ©AAA-Zvardon

人物インタビュー

**メゾン・フェルベール
クリスチヌ・フェルベールさん Christine Ferber**

クリスチヌ・フェルベールさんのジャムの店があるのは、アルザスのブドウ畑に囲まれた小さな村、ニーデルモルシュヴィール Niedermorschwihr。フェルベールさんの作る絶品ジャムを求めて、世界各国から多くの人がこの小さい村を訪れる。三ツ星シェフのアラン・デュカスやピエール・エルメ、ジョルジュVのような名店もフェルベールさんの作るジャムのファンだ。「私の曾祖父も祖父もパン職人、私の父はパン職人かつパティシエ、ショコラティエでもありました。子供の頃から父の菓子作りを手伝うのが大好きで、祖母の家には大きな菜園があってフルーツの収穫もしました。アルザス地方では、クリスマスにいろいろな種類のデザートを作りますし、そのような環境が今の私をベースとなっているのです」と語ります。フルーツは優しく扱い、ゆっくりと時間をかけて作ることが美味しいジャム作りの秘訣だそう。

メゾン・フェルベール Maison Ferber
住所：18, rue des Trois Epis – F 68230 NIEDERMORSCHWIHR
TEL: + 33 3 89 27 05 69 オンライン販売 www.edelices.com



©Tschan

www.tourisme-alsace.com/en/press-contact
jp.rdvef.com/presse2015



automne / hiver

ミディ・ピレネー

1 航空テーマパーク「アエロスコピア」誕生

歴史的に航空産業に関わりの深いトゥールーズ Toulouse の郊外、エアバス工場の近くに航空科学や技術をテーマにしたテーマパーク、アエロスコピア Aéroscopia が 2015 年 1 月にオープンした。航空に関する技術や専門知識、テクノロジーに親しむことができるテーマパークで、7100 m²もの敷地には、30 機以上もの歴史的な航空機が展示される。航空史に輝く「アイコン」とも言うべきカラベルやコンコルド、スーパーグッピー、エアバス A300B や A380 が最大の見どころ。実際に入ってみることも可能。

www.musee-aeroscopia.fr



アエロスコピア ©Manatour

2 ロデズにスラージュ美術館オープン

世界に広く名を知られ、フランスを代表する現代アート界の重鎮ピエール・スラージュ。そのスラージュの作品を展示する美術館が、出身地であるミディ・ピレネー地方のロデズに昨年オープンした。著名な建築家の設計による美術館に 500 点あまりの作品が展示されている。オープン記念には特別展「Outrenoir (黒を超えた黒)」が開催され、スラージュの内なる世界へと迫った。黒に反射する光を対象とした抽象画は今日までスラージュが制作を続け、画家としての評価を決定づけたテーマである。スラージュの生まれ故郷に素晴らしいコレクションを所蔵する珠玉のような美術館が誕生したことは、地元の人々の誇りである。

www.musee-soulages.grand-rodez.com



スラージュ美術館 ©P.THEBAULT / CRT Midi-Pyrénées

3 ドム・ロベール 20 世紀タピスリー美術館オープン

2015 年春、18 世紀建造のソレーズ修道院およびソレーズ修道院学校に「ドム・ロベール 20 世紀タピスリー美術館 Le Musée Dom Robert et de la tapisserie du XX^{ème} siècle」がオープンする。

ドム・ロベール Dom Robert (1907-1997) はソレーズにほど近いアン・カルカ修道院 Abbaye d'En Calcat の修道士であった。著名なタピスリー作家ジャン・リュルサ Jean Lurçat と出会い、リュルサがオービュッソンのタピスリー産業の復興に寄与していたことから、ロベールも創作活動に加わることとなる。自然の讃歌をテーマに動植物を色彩豊かに描いている。

豊かな緑に囲まれ、伝統技術と芸術、そして自然が合わさった珠玉の史跡、ソレーズの修道院を是非訪れたい。

www.domrobert.com



ドム・ロベール 20 世紀タピスリー美術館 ©Abbaye d'En Calcat / JL-Sarda

4 マルシアックに 5 つ星ホテルオープン

ジャズフェスティバルで知られるマルシアック Marciac の古い公立学校が改装され、ジェール Gers 県内に初めて 5 つ星ホテルがオープンした。ラ・ヴィラ・トスカーナ La Villa Toscane である。

19 世紀建造の建物は完全にリニューアルされ、ゆったりとくつろげるゴージャス感にあふれる。14 ある客室はイタリア・バロック様式をイメージし、スパは落ち着いたシックな雰囲気。ピアノパーもおすすめだ。ジャズの都にぴったりの高級ホテル登場である。

www.lavillatoscane-marciac.fr



©La VillaToscane Marciac



欧州連合共催プロジェクト
欧州地域開発基金がミディ・ピレネー地方を支援。

春夏秋冬、色めくフランス

ノルマンディー

1 モン・サン＝ミッシェル、再び島に

1979 年にユネスコ世界遺産に登録されたモン・サン＝ミッシェルは 2015 年、環境保全工事を終了し、従来の姿を取り戻す。モン・サン＝ミッシェルは陸地から完全に切り離された島となり、従来の観光方法は一新される。

橋が新設され、島内には一年を通じていつでもアクセスすることが可能だ。全ての人が快適に島へ渡れるようあらゆる考慮がなされている。大潮の時の様子は 2015 年からは今までとはまったく別のものであるはずだ。大潮は 1 年で平均 20 日、40 回ほどある。わずか数時間で、モン・サン＝ミッシェルはまるで魔法をかけられたかのように完全な島となるだろう。

www.bienvenueaumontsaintmichel.com

www.discover-montsaintmichel.com



モン・サン＝ミッシェル、工事完成記念オフィシャルビジュアル
「驚異」への旅 ～ 2015 年、モン・サン＝ミッシェルがふたたび島となる

2 印象派フェスティバルに先駆け、ジヴェルニーで 2 つの特別展開催

19 世紀に生まれた新しい美術の流れ「印象派」。誕生の場所はノルマンディーであった。いかにもノルマンディーらしい村ジヴェルニーにある印象派美術館では 2015 年には 2 つの特別展が企画されている。

- ・「ドガ ～印象派の画家？」3 月 27 日～7 月 19 日
- ・「モネの庭を撮影。現代的な 5 つの視線」7 月 31 日～11 月 1 日

www.mdig.fr

この 2 つの特別展は、2016 年 4 月 16 日から 9 月 26 日まで開催される第 3 回印象派フェスティバルの露払いとなるものである。印象派フェスティバルは文化的でありつつ楽しき溢れるフェスティバルで、第 3 回となる次回のテーマは「印象派の肖像画」である。

www.normandie-impressionniste.eu



印象派美術館 ©J.Faujour - (ADAGP)

3 ルーアンに新観光名所登場

■ユニークな新アトラクション「パノラマ XXL」

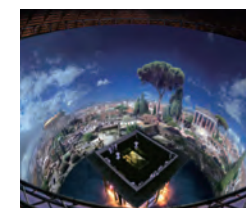
ルーアンに「パノラマ le Panorama」と呼ばれる新しい観光アトラクションが登場した。360 度の巨大スクリーンを有する文化施設である。上映館は高さ 26 メートル、長さ 120 メートル、直径 30 メートルの施設で、丸屋根の建物に巨大スクリーンが設置されている。アマゾン舞台にした「アマゾニア」やジャンヌ・ダルク時代のルーアンを再現した作品「中世のルーアン」やローマ皇帝コンスタンティヌス 1 世の時代を舞台にした「古代ローマ」などが上映される。

www.panoramaxxl.com

■ジャンヌ・ダルク記念館オープン

2015 年 3 月、大司教館にジャンヌ・ダルク記念館 Un Historial pour Jeanne d'Arc がオープンする。最新技術が駆使された独創的な展示を通じ、ジャンヌ・ダルクの生涯を辿る。

www.historial-jeannedarc.fr



©Asisi

4 ハイエンドなホテル、続々登場



ホテル・ド・ラ・シュヌヴィエール ©La Chenevière

ノルマンディー地方には要求度の高い日本人のお客様のご要望にお応えできるホテルが揃う。高級ホテルも多く、5 つ星のホテルがすでに 6 軒もある。ドーヴィル Deauville のノルマンディー・バリエール Normandy Barrière とロワイヤル・バリエール Royal Barrière、カブール Cabourg のグラン・ホテル Grand Hôtel、オンフルール Honfleur のフェルム・サン・シメオン Ferme Saint-Siméon、カン Caen のイヴァン・ヴォーティエ Ivan Vautier、そしてルーアン Rouen のブルトルールド Bourtheroulde である。バイユー Bayeux 近郊のポール・アン・ベッサン Port-en-Bessin のホテル・ド・ラ・シュヌヴィエール Hôtel de la Chenevière も近く 4 つ星から 5 つ星となる予定だ。

ドーヴィルのリュシアン・バリエールグループのホテル、ノルマンディー・バリエールとロワイヤル・バリエールの両ホテルは、2016 年までリニューアル工事を行う予定なので注意しておきたい。

また、2015 年 4 月にはトゥルーヴィル・シュル・メール Trouville-sur-Mer にデラックスホテル、レ・キュール・マリーヌ Les Cures Marines がオープン予定である。アコグループの M ギャラリー・ホテル・チェーン加盟のホテルで、2500 m²のタラソテラピーセンターとスパ施設を備える。

www.lucienbarriere.com - www.mgallery.com - www.fermesaintsiméon.fr - www.ivanvautier.com - www.lacheneviere.com - www.hotelsparouen.com



春夏秋冬、色めくフランス

nouveautés

フランスの街ーフランスを感じる最良の方法



1 エクス・アン・プロヴァンス AIX-EN-PROVENCE

新しいアートセンター登場

エクス・アン・プロヴァンス市内にある 18 世紀築の美しい館がアートセンターとして生まれ変わる。

2015 年 5 月 6 日、マザラン地区 quartier Mazarin にあるコモン館 Hôtel de Caumont がリニューアルされてアートセンターとなり、オープニング記念の美術展が開催される。今後は年に 2 回のペースで、各国の巨匠たちをテーマに特別展が開催される予定だ。エクス・アン・プロヴァンスにおけるセザンヌの生涯を紹介するビデオが毎日上映されるほかコンサートや講演会も企画されており、エクスにおけるアート発信の中心地となるに違いない。

併設されるサロン・ド・テや中庭は散策の間に寛ぐのにも最適。

www.culturespaces.com



コモン・アート・センター ©C.Michel

2 ボルドー BORDEAUX

フランス初！ボルドーでナイト・マラソン開催

2015 年 4 月 18 日、ボルドーで初めてフルマラソンが開催される。しかし、ありきたりのマラソンではない。フランスで初めて、夜間に走るマラソンが開催されるのだ。月明かりで走るのなら「月の港」の愛称のあるボルドーほどぴったりの場所は他にない。スタートは夜の 8 時。カンコンス広場 place des Quinconces を出発して、大劇場やボルト・カイヨー、市立公園、ピエール橋などボルドー市内の名所を通り、その後市外へ出て、ブドウ畑を通りつつベサック Pessac やタランス Talence、メリニャック Mérignac などを抜けていく。ゴールはブルス広場 place de la Bourse。ユネスコ世界遺産にも登録されているボルドーを違った形で楽しむ絶好の機会である。

ボルドー・メトロポール・マラソン Marathon de Bordeaux Métropole

2015 年 4 月 18 日

www.marathondebordeauxmetropole.com/en/



3 ニーム NIMES

円形闘技場でグラディエーターの戦いを再現

ヨーロッパの文化のベースとなっているのが古代ローマ文化である。フランス最古の町、ニームにあるローマ遺跡の円形闘技場は最も保存状態が良いとされているが、そこでフランスのみならずヨーロッパ各地から 500 人以上の出演者が集まり、ローマ時代に行われていた戦いを再現したイベントが開催される。グラディエーターたちによる戦い、戦車のレース、ローマ兵たちのパレードやかがり火など、ローマ時代さながらの臨場感と迫力が楽しめる。象を伴ってニーム入りするハンニバルは必見。

2000 年前にニームの人たちが味わったのと同じ興奮をこの機会に是非体験したい。

日程：2015 年 5 月 2 日と 3 日

www.arenas-nimes.com/en/node/1432



古代ローマのイベントを再現 ©M. Fasol, Culturespaces

4 サン・テティエンヌ SAINT-ETIENNE

フィルミニ＝ヴェールで建築家ル・コルビジエの没後 50 年記念イベント開催

フィルミニ＝ヴェール Firminy-Vert は、建築の巨匠ル・コルビジエが設計したヨーロッパ最大の複合施設だ。2015 年はル・コルビジエの没後 50 年にあたり、フィルミニ＝ヴェールでもさまざまな記念イベントが企画されている。ル・コルビジエの生涯や作品を巡る特別展や講演会、ガイディングツアー、レクチャーやセミナーなど充実した内容だ。特に見逃せないのがル・コルビジエの子弟アンドレ・ヴォジャンスキー設計によるプールのガイディングツアー。

www.sitelecorbusier.com



ル・コルビジエ設計のサン・ピエール教会 Saint Etienne Tourisme ©Conception, Le Corbusier architecte, José Oubrière assistant (1960-65), Réalisation, José Oubrière architecte (1986-2007)

第 9 回デザイン・ビエンナーレ開催

2015 年 3 月 12 日から 4 月 12 日まで国際デザイン・ビエンナーレが開催される。今回のテーマは「美の意味」。同時に非公式なビエンナーレ OFF も開催され、サン・テティエンヌ市内や近郊で数多く企画されるデザインを巡るさまざまなイベントや特別展を満喫することができる。

www.biennale-design.com/saint-etienne/



ロワール古城地方



1 ロワールに外輪のクルーズ船登場



ロワール河に外輪船、新登場 ©Franck Charel

ロワール河に外輪のクルーズ船が登場した。サン・ナゼール Saint-Nazaire からアンジェ Angers までの船旅を楽しむことができる。アンジェに到着したらロワール河から離れ、古城巡りをしてみたい。

www.croisieurope.travel/en-gb/ships/ms-loire-princesse-2015

2 ソミュールの岩窟ホテル

ロワールでは石灰岩の崖をくり抜いて造るロワール独特の住居スタイルを利用した「岩窟ホテル」でユニークな滞在を楽しむことができる。ソミュールから 23 キロのところにあるホテル・ロカミノリ Hôtel Rocaminori (3 ッ星) は 15 ある客室の大半が岩穴の中に造られている。このほど数ヶ月の工事を経てリニューアルオープンした。

www.rocaminori-hotel.fr/en

3 ショーモン・シュル・ロワールの「アートおよび自然センター」

ショーモン・シュル・ロワール城 Château de Chaumont-sur-Loire は 1 年を通じて来場者を楽しませる城である。城に設立された「アートおよび自然センター Centre d'Arts et de Nature」ではアートと自然の関わりに着目、造形作家や写真家がショーモンという土地にインスピレーションを得て、創作活動を行っている。城内や庭園には彼らの作品が展示されており、来場者の感動を呼んでいる。庭園フェスティバル Festival des Jardins 開催時には毎年テーマを設定、30 名ほどの造園家や建築家、ガーデナーが集い、自由な発想で作品を制作する。

www.domaine-chaumont.fr/jp_can_can

www.loire-chateaux.jp



ショーモン・シュル・ロワールの庭園に造られたライナー・グロス作品 ©G Girard CRT Centre Val de Loire / Oeuvre Rainer Gross

4 シャンボール城に「ヒストリーパッド」登場



シャンボール城 ©L. de Serres

シャンボール城 Chambord は 2015 年も新しい話題には事欠かないが、筆頭にくるのが「ヒストリーパッド」の登場である。このタブレットは、シャンボール城にはもはや存在しない、あるいは一般には公開していない部屋や細部を 3D で再現してくれるのだ。このタブレットを使えば、興味に応じて見学をカスタマイズすることも可能。バーチャルマップのほか、城の歴史に関するさまざまな情報やゲームが満載されている。シャンボール城の変遷にたっぷり浸ることができるだろう。新しいテクノロジ（バーチャルな再現や双方向性のコミュニケーションが可能な機能）は来場者へのサービスアップに大きく寄与している。

www.chambord.org



春夏秋冬、色めくフランス

春夏秋冬、色めくフランス

nouveautés

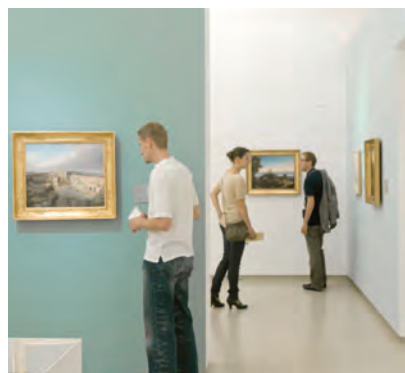
アルザス



1 コルマールのウンターリンデン美術館、2015年9月にリニューアルオープン!

ウンターリンデン美術館 Musée Unterlinden は 13 世紀建立の古い修道院である旧館と建築家ヘルツォーク&ド・ムーロンの設計による近代的な建物から成る美術館に生まれ変わる。美術館は紀元前 5500 年の先史時代から 21 世紀の現代作品まで、7000 年もの歴史をカバーする豊富な所蔵品を誇り、展示のハイライトは「イーゼンハイムの祭壇画」。かつて市民プールだった建物は、今までスペースがなく公開できなかったコンテンポラリーアート作品の展示スペースとなる。広々とした空間は気持ちよく、美術鑑賞のみならず、気分をリフレッシュするために訪れるにも良さそうだ。

www.musee-unterlinden.com



©AAA-Meyer



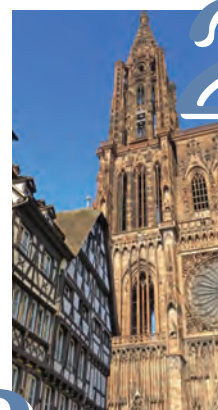
©AAA-Meyer

2 ストラスブールの大聖堂、建立 1000 年を祝う

中世からデジタル時代を知る大聖堂。なんという長い道のりを経て来たのだらうか。

1015 年から建てられ始めたが、当時のロマネスク建築の部分はほとんど残っていない。1000 年の間には、部分的に取り壊されたり、略奪に会ったりし、数々の受難があった。カトリックの大聖堂として建てられたが、その後プロテスタントとなり、フランス革命時にはキリスト教に替えて国家宗教とされた理性崇拜の神殿として使われるなど、数奇な運命を辿っている。ゴシック様式の尖塔部分は 1439 年に完成し、19 世紀まではキリスト教世界で最も高い宗教建築であった。

建立 1000 年を祝う行事は 2014 年 9 月から始まり、150 以上もの記念イベントが企画されている。2015 年 9 月には盛大に記念式典が開催されるほか、新しいプロジェクションマッピングも開始される。



©Krysstof

3 「日出ずる国の染色技法」展 2014 年 9 月 ~ 2015 年 10 月

パリのオートクチュールブランドのメゾン・レオナルド Maison Leonard がミュルーズにて特別展を開催し、日本の絹織物の染色にスポットを当てる。

メゾン・レオナルドはアジアに造詣が深いブランドである。日本の染色技法を取り入れ、西欧で初めて着物のデザインを手がけたブランドとして知られている。レオナルドと着物は、いずれもシルクを使用するという共通点があったのだ。

伝統的な着物の世界に新たな息吹を吹き込んだレオナルドの世界にたっぷり浸れる特別展。

ミュルーズ・染色美術館 Musée de l'Impression sur Etoffes
「日出ずる国の染色技法 (Les Impressions du Soleil Levant)」展

www.musee-impression.com



日出ずる国の染色技法展 ©Mulhouse

4 星の王子さまパーク、オープン

1492 年 11 月 7 日に隕石が落ちてきたとの記録が残る、ウンゲルスアウム Ungersheim。そこに楽しく遊びながら学ぶこともできるテーマパーク、「星の王子さまパーク」がオープンした。世界初の「空中テーマパーク」を誇る。

星の王子様らしく、世界でも珍しい「飛行」をコンセプトにしたパーク内には約 30 ものアトラクションが用意されている。星の王子様の冒険を 3D あるいは 4D で体験してみたい。また 3 つもの気球が係留されており、高さ 150 メートルからヴァージュ山脈、フォレー・ノワール (黒い森)、スイスからアルザスの平原までを一望するヨーロッパ最高の景色が堪能できる。

星の王子さまパーク Le Parc du Petit Prince

www.parcdupetitprince.com



©AAA-Meyer



©AAA-Meyer



春夏秋冬、色めくフランス

AIRFRANCE

エールフランス航空
Air France

プレスコンタクト先

山本 裕美子 (コミュニケーション&PR マネジャー)
Yumiko YAMAMOTO (COMMUNICATION & PR MANAGER)
Tel:03-3475-2203 Fax: 03-3475-2229
E-mail: yuyamamoto@airfrance.fr



羽田、成田、関空からヨーロッパへ。
羽田線では 4 つの客室全てがアップグレードしたクオリティに。

エールフランス航空はこの夏、羽田、東京国際空港からパリへ最大 1 日 2 便の運航、加えて成田、関空からの毎日 1 便で、朝、昼、夜と選べる充実したスケジュールです。最大毎日 4 便で日本とヨーロッパを結びます。エールフランスが提唱する [フランス流の旅の美学]、現在のキャビン構成はファーストクラス、ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラス、エコノミークラスの 4 クラスです。エールフランスではこの夏、新しいファーストクラスの客室を 5 月 13 日より羽田の深夜便、AF293 (午前 0 時 30 分発) に導入して全クラスのグレードアップを完成させます。

新しいファーストクラスはわずか 4 席、上質のスイートルーム空間を開閉の調節できるカーテンが可能にしました。柔らかな淡いブルーグレーの座席はツイード調の布とベージュのレザーで高級家具のような座り心地と材質。柔らかな間接照明、エールフランスのシンボルマーク、翼のある海馬 (ヒポカンボス) をシェードにあしらったサイドランプなど、こだわりのインテリアで極上の空の旅をお楽しみいただけます。

フランス産の高級キャビア、スチュアアから始まるお食事は、フランスのスターシェフ達が考案する美食メニューです。

昨年 10 月に羽田線に導入されて人気の新ビジネスクラスは 3 つの F がコンセプト。フルフラット / 180 度水平なベッドになる座席。フルアクセス / 全ての席から通路へのダイレクトアクセス。フルプライバシー / 完璧なプライベート空間。現在ビジネスクラスでは 7 月末まで、フランスで唯一の女性ミッドシェフ、アンヌ＝ソフィ・ビックが考案した軽やかで香り高いメインディッシュ 5 種をパリ

発で提供しています。

プレミアムエコノミークラス:ファーストサービス、セカンドサービス共に温かいお食事を提供すると共に、新しいオファー (チョコレートやキャンディー、アイスクリーム) が加わり、より快適で、楽しい旅を演出します。

エコノミークラス: 足元のスペースが広くなり、新しいクッション、柔らかく、調節できる快適なヘッドレスト、ワイドテーブル等、すべてをリニューアル。電源とヘッドフォンホルダーなどを含む新しい設備が加わりました。機内エンターテインメントプログラムでは音楽、映画、テレビ番組、その他多くの番組がオンデマンドで楽しめる高画質なワイドタッチスクリーンを装備しました。

チケットの予約、購入はもとより、搭乗券もスマートフォン上で発券。エールフランスのサイト上に (PC およびスマートフォン) で自身のパーソナルスペースを作成し、フライト予約に必要な個人情報に加えて座席の好みなどを入力すれば、マイレージの管理から予約の変更などがさらに簡単な操作で可能になります。日本語でのツイッター、フェイスブック、さらに音楽専門サイト「エールフランスミュージック」、旅の写真を楽しむ「エールフランスカメラ」と、さらに広がりを見せるエールフランスのソーシャルメディアにもご注目ください。

AIR FRANCE "FRANCE IS IN THE AIR" エールフランス航空は「一歩入ればそこはフランス」、と呼ばれる優雅な空の旅をこれからもお届けしてまいります。

写真は全て新ファーストクラス



www.airfrance.co.jp



ヨーロッパの観光の中心フランスへ

～ H.I.S.ならではの個性豊かな旅のスタイル・観光地・観光内容のご提案 ～

ヨーロッパの観光の中心フランスへ

～ H.I.S.ならではの個性豊かな旅のスタイル・観光地・観光内容のご提案 ～

【アレンジ自由自在 個人旅行パッケージツアー Ciao (チャオ)、いいとこ取りの旅 Ciaopresso (チャオプレッソ)】

毎日出発でき、経由便、直行便などの航空券、ラグジュアリーからバジェットホテルまで滞在ホテルの組み合わせができるツアーブランドCiaoは誕生から25年を迎えても日々進化しています。本当に美味しいフランス料理をお楽しみいただくため、「美食旅パリ」のコースを造成いたしました。日本におけるフランス料理の第一人者坂井宏之シェフが実際にパリに赴き、実際に試食しお墨付きをいただいたレストランでの食事がついているツアーです。アパートメントで滞在するタイプのコースではマルシェ食材を購入し、自身で料理できるよう坂井シェフ監修のレシピ本も作成し非常に好評を得ています。

個人旅行とグループツアーのメリットを併せた旅チャオプレッソでは、今年の夏も毎年好評のルイ14世が嫉妬したという個人では訪れにくいヴォー・ル・ヴィコント城とそれをモデルにして造成された世界遺産ヴェルサイユ宮殿を訪れるツアーを発表。2,000本のキャンドルに囲まれた幻想的な雰囲気の中でディナーをご賞味いただけます。

このような個性的なツアーが実現可能なのも現地に支店があるH.I.S.だからこそです。商品面



だけではなく、現地到着後の各種手配のお手伝いや、お客様の安心・安全のために24時間サポートを日本語にて対応などを行っています。



安心の頼れる添乗員同行の旅 impresso

～ もっと安心・さらに快適・そして自由に ～

毎年大好評を頂いていますルーヴル美術館厳選フロア貸切見学付ツアーも今年で7年目。今年は3月から10月までの間で出発日の設定数を増やし、合計1,200名様のお席をご用意しております。また新しい方面では近年注目度があがっている美食と世界遺産と絶景の宝庫ミディレネー方面の新コース、ローマ時代に作られた橋の上で繰り広げられるパフォーマンスやラベンダーの名所など季節の見所を組み込んだ南仏をご案内するツアーなどパリとモンサンミッシェル以外の見所を多数ご紹介させていただいています。またワンランク上の「インプレッソプレミアム心に響く旅」も発表。芸術をテーマとし参加人数に上限を設定、移動手段、観光、食事、ホテルなどディティールにこだわった旅をご提案。今後も続々と新しい旅を提案してまいります。

H.I.S.の原点 自由旅行 ～海外航空券・海外ホテル～

直行便、経由便、エコノミー、プレミアムエコノミー、ビジネスクラスなどの航空券、現地支店直接仕入れのホテル、オプションルツアー、鉄道チケット、レンタカーを組み合わせる自由旅行も国内随一の品揃え。経験豊富なスタッフがお待ちしております。



バカラ、250年の物語

1764年、ルイ15世の認可を受け、フランス東部ロレーヌ地方に位置するバカラ村に誕生しました。創設以来250年もの間、バカラは優れた技術と叡智の代名詞であり、アール・ドゥ・ヴィーヴル(生活美学)の象徴として輝き続けてきました。

ルイ18世からグラスセットの注文を受けたのは1823年。バカラにとってフランス国王からの初めての特別注文でした。その後もシャルル10世、ルイ＝フィリップ、ナポレオン3世、大統領、とフランス歴代の元首の御用達となりました。

そして19世紀から20世紀にかけて、パリ万博をはじめとする博覧会での数々の受賞をきっかけに、国際的な名声を獲得したバカラは「王者たちのクリスタル」と冠されるようになりました。

バカラには現在、14名のM.O.F.(フランス最優秀職人)が在籍しています。その数はフランス国内の一企業では最多を誇ります。最高の技術を持つ、成形職人、カット職人、エングレイヴ職人、金彩職人たちが、非凡な才能を駆使して完璧をめざしています。

ブランドのアイコンともいえるライティングから、テーブルウェア、ユニークな装飾品から洗練を極めたビジュウ。バカラはすべての瞬間や空間を特別なものに変えてしまうクリスタルの魔法で人々を虜にします。

バカラは250年前より、人々の忘れえぬ祝祭の時を輝かせています。

バカラメゾン パリ

2003年、パリ16区合衆国広場に誕生したバカラメゾン パリ。

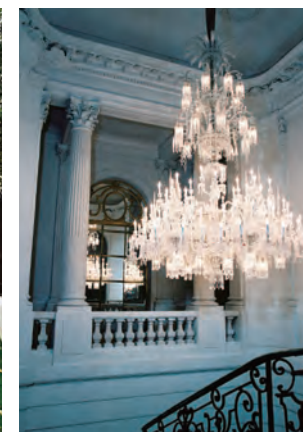
20世紀初頭、芸術の庇護者として社交界に大きな影響力を持つ、マリー＝ロール・ド・ノアイユの邸宅を、フィリップ・スタルクが真のラグジュアリーを体現する「クリスタルパレス」として生まれ変わらせました。

1階にはバカラの全てのコレクションが揃うブティック、2階にはバカラを代表する数々の歴史的作品が並ぶギャラリーミュージアム、そしてシャンデリア、グラス、キャンドルスタンドにいたるまでバカラづくしで食事をお楽しみいただける、レストラン「クリスタルルーム」。

まさに、アール・ドゥ・ヴィーヴルの象徴ともいえるバカラのすべてがここに 있습니다。



バカラメゾン パリ



アンステイチュ・フランセ日本 Institut français du Japon

プレスコンタクト先

津田 桜
Sakura TSUDA

Tel: 03-5798-6008 Fax: 03-5798-6026

E-mail: sakura.tsuda@institutfrancais.jp

四季折々のアンステイチュ・フランセのイベント ～日本にしながら、フランスを体感～



フランス政府公式機関のアンステイチュ・フランセ日本では、フランス語の授業だけでなく、フランスを感じる多くのイベントを開催。季節とともに、毎年恒例のビックイベントで皆様をお待ちしています。

● **春 フランコフォニーのお祭り**：フランス語クラスのトライアルはもちろん、映画、文学、音楽にグルメといったフランス語から生まれるクリエイティブで多彩な表情をお楽しみください。

● **夏 フランス映画祭**：ユニフランスとともに贈る、年に一度の映画祭。今年も、東京、京都、大阪、福岡にて開催予定。

● **秋 美食の祭典 / 読書の秋**：秋の2大イベント。フランスのライフスタイルを様々な形や味覚で紹介するお祭り、フランス語で創作された文芸・BD 作品を紹介するフェスティバル。

● **冬 デジタル・ショック**：デジタルアートから、ビデオゲーム、アニメーション、そしてエレクトロミュージックに至るまで、あらゆる分野のクリエイションをご紹介します。

旅行前の準備など、フランス語のプライベートレッスンも充実のアンステイチュ・フランセ日本は、全国5都市（東京、横浜、京都、大阪、福岡）にて展開しています。

www.institutfrancais.jp

ローラン・ペリエ Laurent-Perrier

プレスコンタクト先

広報担当：株式会社フレア 岡部 昭子
Akiko OKABE, FLAIR Inc.

Tel: 03-5765-6631 Fax: 03-5765-6632

E-mail: ao@flairjapan.com

ローラン・ペリエ：2世紀にわたるエレガンスの追求

1812年に創立されたローラン・ペリエは、家族経営のシャンパンメゾンの中で世界最大のメゾンです。その成功の陰には、「信念を貫く事」、「情熱」という2つのキーワードがありました。

その「信念」とは自然を尊重しワインを尊重する事、ひた向きに品質を追求する事、人を大事にするという3つの信念です。そして「情熱」とは、ローラン・ペリエを世界で指折りのシャンパンメゾンに育て上げた前当主、故ベルナール・ドゥ・ノナンクール・ペリエの情熱です。ローラン・ペリエの創造性あふれる数々のシャンパンは、この情熱と、伝統と革新を融合するという独創的で自由な発想から生まれました。彼の情熱は、2人の娘で現当主である長女のアレクサンドラと次女のステファニーによって引き継がれています。

ローラン・ペリエのすべてのシャンパンに共通しているのは、「フレッシュさ」、「エレガントさ」、そして「バランスの良さ」です。このすべてのシャンパンに貫かれているメゾンの個性的なスタイルは、3代目のセラーマスター、ミシェル・フォコネとそのチームに受け継がれています。



www.suntory.co.jp/wine/special/laurent_perrier

ギャラリー・ラファイエット百貨店 パリ・オスマン本店 Galeries Lafayette Paris Haussmann

プレスコンタクト先

広報担当者名：小池 靖子
Yasuko KOIKE

Tel: +33 (0) 1 73 71 91 86

E-mail: ykoike@galerieslafayette.com



パリの中心部に位置し、売場総面積7万㎡を誇る百貨店。建造100周年を超えたネオビザンチン様式のクーポール（丸天井）がある本館をはじめ、紳士館、メゾン&グルメ館の3館には、モード、高級宝飾品、コスメ、インテリア雑貨、キッチン用品、グルメ食材が勢揃い。リーズナブルなものからラグジュアリーな商品まで、3500を超えるブランドをお取り扱いしています。

40, BD HAUSSMANN 75009 PARIS

営業時間：
月曜～土曜 9H30～20H00
木曜～21H00

定休日：
日曜およびフランスの祝祭日
（特別営業日あり）



haussmann.galerieslafayette.com/ja

ルシアン・バリエール ホテル & カジノ Lucien Barrière Hôtels & Casinos

プレスコンタクト先

プレス本部：
エマニュエル・ガリジ Emmanuelle GALIZZI
Tel: +33 (0)1 42 86 39 87
E-mail: egalizzi@lucienbarriere.com

パリ：
セリーヌ・ラヴァイユ＝ジョルジャン Céline Lavail-Georgin
Tel: +33 (0)1 40 69 60 59
E-mail: clavailgeorgin@lucienbarriere.com



ルシアン・バリエールホテルズ & カジノは、フランス国内にホテル17軒、カジノ41ヶ所、レストランとバー135ヶ所を展開しているグループです。

■ **ドーヴィル** 1912年に建てられた緑色のハーフトンパー様式と茶色の瓦屋根が特徴的な、ノルマンディー・バリエール・ドーヴィルはアングロ・ノルマンスタイルの最も美しい城館の建築様式を保ちつつリノベーションされました。ロワイヤル・バリエール・ドーヴィルは、ベル・エポック時代の建築様式と上品さ、現代の豪華さを合わせ持つ洗練された客室222室、スイートルーム30室があります。

■ **カンヌ** ホテル・マジェスティック・カンヌはクロゼット通りにあり、パレ・デ・フェスティバルに面した理想的な場所にあります。客室258室、450㎡と600㎡のイベントハウスを含むスイートルーム91室があります。

■ **ラポール** プルターニュの北に位置するラポールのロワイヤル・タラン・バリエールは、15室のスイートを含む87室は完全に改修され、2015年4月3日にリニューアルオープンを迎えます。

■ **パリ** ジョルジュ・サンクのルイ・ヴィトン正面のホテル・フーケッツ・バリエールは、世界でも最も美しい大通りのひとつシャンゼリゼ通りに位置しています。スイートを含む全81室あり、5階には250㎡のプレジデンシャルスイートがあります。

数あるガストロノミックレストランを統括するトップシェフは、フランス国家最優秀職人賞の名誉を授与されたジャン＝イヴ・ルランジェ。ギャラリー・ジョイやカフェ・フーケッツの伝説のテラスでのティータイム、フーケッツでの伝統的なフランス料理、ル・ブチ・メゾン・ド・ニコラの南仏料理、ミシュランの星を獲得しているル・ディーンで極上フレンチをお楽しみ下さい。

www.lucienbarriere.com/welcome.html

2015～2016年の主な特別展

[Paris パリ]


David Bowie is... デヴィッド・ボウイ・イズ
2015年3月3日～5月31日
開催地：フィルハーモニー・ド・パリ
Philharmonie de Paris

ロンドンのヴィクトリア & アルバート博物館で大成
功を収めた展覧会がパリでも開催される。最も影響
力があり革新的なアーティスト、デヴィッド・ボウ
イに焦点を当てた回顧展で、手書きの歌詞、オリジ
ナルのステージ衣装、写真、舞台装置、アルバムの
ジャケット、舞台のオブジェなど300点以上もの展
示品がある充実した内容。
www.philharmoniedeparis.fr

**Jeanne Lanvin et les arts
ジャンヌ・ランバンとアート**
2015年3月5日～8月24日
開催地：ガリエラ宮 (パリ市立モード博物館
Musée de la Mode de la Ville de Paris)

ファッション界を代表するデザイナー、ジャンヌ・
ランバン。パリ市モード博物館ではランバンが手が
けたコレクションの中でも代表的な服飾やアクセサ
リーを100点ほど集めた特別展を開催する。屋の
フォーマルドレス、イヴニングドレス、スーツ、コー
ト、帽子などの展示品を通し、ランバンの長きにわ
たったキャリアを辿ることができる。
www.palaisgalliera.paris.fr

Pierre Bonnard ビエール・ボナール展
2015年3月17日～7月19日
開催地：オルセー美術館 Musée d’Orsay


オルセー美術館で
비에ール・ボナ
ールの大規模な回
顧展が開催される
。多彩な才能の持
ち主だったボナ
ールの創作活動は
、油彩画、デッサ
ン、版画、アール
・デコ、彫刻、写
真と多技に渡り、
さまざまな時期
における活動を
俯瞰する。肖像
画から静物画、
室内情景から
田園風景、都市
の情景からアン
ティークな装飾
までボナールの
作品はいずれも
感性に優れ、直
感的な芸術家
であったことが
窺われる。
www.musee-orsay.fr

**Velásquez et le triomphe de la
peinture espagnole**
「ベラスケスとスペイン絵画の歓呼」展
2015年3月25日～7月13日
場所：グランパレ、国立ギャラリー
Grand Palais, Galeries nationales

スペイン絵画の黄金時代を代表する巨匠ディエゴ・
ベラスケス(1599年～1660年)の特別展。
ベラスケスの初期の作品に焦点を当てたこの企画展
では、自然主義からカラヴァッジョの作風を追跡す
るカラヴァジェスティへと変遷していったベラスケ
スの変化に富んだ画風と題材が理解しやすい展示と
なっている。展示作品はヴァラエティに富んでおり
、風景画、肖像画、歴史画と手がけたベラスケスの
幅広い才能を見て取ることができる。
www.grandpalais.fr

Lumière ! Le cinéma inventé
「リュミエール！発明された映画」展
3月27日～6月14日
場所：グランパレ、国立ギャラリー
Grand Palais, Galeries nationales

シネマトグラフが誕生して120年を記念し、発明した
リュミエール兄弟に焦点を当てた特別展が開催される。
www.grandpalais.fr

La planète mode de Jean-Paul Gaultier
ジャン＝ポール・ゴルトエのモードの世界
2015年4月1日～8月3日
場所：グランパレ、国立ギャラリー
Grand Palais, Galeries nationales


1970年から2013年にかけて制作されたジャン＝ポール・ゴルトエの独創性にあふれる作品(オートクチュールおよびプレタポルテ)を紹介する特別展が開催される。デザインのクロッキー、資料、舞台衣装および映像資料(映画作品の抜粋、ファッションショー、コンサート、ダンスパフォーマンス、テレビ番組)などから構成される圧巻の内容を誇る。
www.grandpalais.fr

Piaf. J'm'en fous pas mal !
ピアフ。私は気にしない！
2015年4月14日～8月31日
場所：フランス国立図書館 – フランソワ・ミッテラン館 – グランド・ギャラリー BNF - Site François Mitterrand – Grande Galerie

2015年はシャンソン界を象徴する伝説の歌手、エディット・ピアフ生誕100年の記念の年に当たる。特別展は街角で歌を歌う日々から国際的なスターになるまでの波乱万丈なピアフの人生の足跡を辿る。写真、手紙、ポスター、レコード、その他の録音テープ、フィルムの抜粋、雑誌、そして有名な黒い小さなドレスまで100点以上もの展示品があり、ピアフのキャリアをより良く理解することができる。
www.bnf.fr

Le Corbusier ル・コルビジエ
2015年4月29日～8月3日
場所：ボンビドー・センター Centre Pompidou

ル・コルビジエ没後50年に開催される回顧展。世界に名だたる建築家であり都市計画の専門家であったル・コルビジエへオマージュを捧げた本展では、画家でもあり、デザイナーでもあった側面も紹介。ル・コルビジエの全作品を貫く空間と造形の表現に対する理解を深めることができるに違いない。
www.centrepompidou.fr

Shadows d’Andy Warhol
アンディー・ウォーホルの Shadows
2015年10月2日～2016年2月7日
場所：パリ市立近代美術館
Musée d’art moderne de ville de Paris

この特別展はアメリカ以外で初めて、ウォーホルの記念碑的なシリーズ作品「Shadows(影)」を紹介するものである。「Shadows」はウォーホルが手がけた中ではもっとも規模が大きい作品で、102枚のパネルに同じモチーフを17の異なる色で描いた連作だ。また、ウォーホルの晩年の作品や映像作品も紹介される。
www.mam.paris.fr

Picasso et l'art contemporain
「ピカソと現代美術」展
10月7日～2016年2月29日
場所：グランパレ Grand Palais

1960年代以降、現代アーティストたちがどのようにピカソの作品を受け止めて来たかを検証する。ディヴィッド・ホックニー、ロイ・リキテンスタイン、マルティン・キッペンベルガー、バスキア、アンディー・ウォーホル、ジェフ・クーンズらの作品がピカソの作品と合わせて展示される。
www.grandpalais.fr

Martin Scorsese, l’exposition
「マーティン・スコセッシ監督」展
2015年10月7日～2016年1月24日
場所：シネマテーク・フランセーズ
Cinémathèque française

マーティン・スコセッシ監督を中心に俳優のロバート・デ・ニーロ、脚本家・監督のポール・シュレイダーの私物に焦点を当てた初めての特別展がシネマテーク・フランセーズで開催される。本展では、ストーリー展開におけるスコセッシの芸術的なアプローチがどのようにアメリカ映画史を特徴づけてきたかを探る。スコセッシの着想の源となった品々や独特な仕事の進め方も合わせて紹介される。
www.cinematheque.fr

【フランス各地】

●Nice ニース
EXPOSITION ESTIVALE
« Promenade des Anglais »
夏の展覧会イベント
「フロムナード・デ・ザングレ」
2015年6月12日～2015年10月4日
場所：ニース市内14ヶ所の美術館・博物館

2015年夏は、ニースの顔であり、世界に知られた遊歩道「フロムナード・デ・ザングレ」へオマージュを捧げる特別展が国立、市立の各美術館・博物館14ヶ所で行われる。
www.nice.fr

●Metz メッス
Leiris & Co. Picasso, Masson, Miró, Giacometti, Lam, Bacon...
「レリス・アンド・コー、レリスが語るピカソ、マッソン、ミロ、ジャコメッティ、ラム、ベーコン…」
2015年4月3日～2015年9月15日
場所：ボンビドー・センター・メッス
Centre Pompidou-Metz

20世紀を代表する革新的知識人ミッシェル・レリスが愛した作家の人物評から作品論まで、様々な角度から解釈した美術論書をもとに約350作品を展示する。
www.centrepompidou-metz.fr

●Lens ランス
30 ans d'acquisitions en Nord-Pas de Calais
「ノール＝パ・ド・カレ 30年間で集めた美術作品展」
2014年5月28日～2015年6月1日
場所：ルーヴル・ランス Louvre-Lens

ノール＝パ・ド・カレ地方にある各美術館がこの30年間で収集したマティス、シャガール、デューラー、カルポーなどの17作品とその他の一貫性を持つ作品を合わせて3つのテーマで紹介する。
www.louvrelens.fr

●Les Baux-de-Provence レ・ボー・ド・プロヴァンス
Michel-Ange, Léonard de Vinci, Raphaël
「ミケランジェロ、ダ・ヴィンチ、ラファエル」
2015年3月6日～2016年1月3日
場所：カリエール・ド・ルミエール
Carrières de lumières

レ・ボー・ド・プロヴァンス城や城内の建設に必要な白い石灰石を採掘するための採石場(カリエール)は、フランス最大のマルチメディアによる音と光によるアートスペクタクルが上映され、人々を魅了している。歴代フランス王の中でも抜群の知名度と人気を誇るルネサンス期の王、フランソワ一世の戴冠500周年を記念し、彼が統治した32年間を、同時期に活躍したミケランジェロ、ダ・ヴィンチ、ラファエルなど偉大な芸術家とともに紹介する。
www.carrieres-lumieres.com

●Lyon リヨン
第13回リヨンビエンナーレ展
"La vie moderne"「現代生活」
2015年9月10日～2016年1月3日

2015年第13回リヨンビエンナーレ展は、ゲストキュレーターをラルフ・ルゴフ(ハイワード・ギャラリーディレクター。ロンドン)が務め、新たに「moderne：現代」をテーマとして3部構成で、多数の絵画や彫刻を紹介する。ラルフ・ルゴフは、このテーマはすなわち現代生活だと語り、そのプロジェクトの中で彼の観念を表現する。
www.labiennaledelyon.com

フランスホテル業界の動向

近年パリを中心に新規ホテル建設や、リノベーションをするホテルが急増している。2015年以降もオープンとリニューアルオープンを待つホテルが目白押しだ。歴史的建造物をホテルとして再利用し、オープンさせるのも最近のムーブメントとなっている。

2014年のホテル業界でもっとも話題となったのは、1929年に開設されたプール複合施設、パリ16区のモリトールのプールを改修してできたアコールグループの高級ブランド、Mギャラリーコレクションのホテルとしてオープンしたモリトール・パリ by



Molitor Paris - MGallery Collection ©Abaca Corporate/Boris Zuliani

エム・ギャラリー Molitor Paris by M galleryだ。プールはアール・デコ時代のもので1990年にはフランス歴史文化財に指定されていた。プールの歴史を尊重しながら、ラグジュアリーなホテルに生まれ変わった。

また、凱旋門の近くにオープンした香港&上海ホテルズグループのザ・ペニンシュラ・パリ The Peninsula Parisは、2009年まで外務省の国際会議場だった建物(歴史的建造物に指定)を改修し、世界的に有名なラグジュアリーブランドのホテルのひとつとなった。

それぞれ5ツ星の格付けを得ている。

5つ星ホテルのリニューアルオープンでは、プラザ・アテネ Le Plaza Athénéeが11か月に及びり改修工事を終えて2014年9月に営業を再開した。本館に4つの別館をつなげ総面積が5,500 m²に広がり、スイートルームが14室となった。

2015年には、ご存知1898年創業の貴重なパラスホテル、ヴァンドーム広場のル・リッツ Le Ritzが2012年から3年かけて改修し、よりよいサービスを提供するため完全に生まれ変わる。秋にリニューアルオープンの予定だ。

2014年1月から2015年3月現在、5ツ星に新たに格付けされたのは103軒で、全部で311軒となった。また、格付け最高位にあたる「パラス」称号を持つホテルは16軒である。今年の「パラス」格付け取得申請は3月15日で締め切った。格付け機関が訪問調査を実施し、フランス観光開発機構本部のウェブサイト、ホテル格付けページにてホテル名と格付けを公開する。

www.classement.atout-france.fr



2015年4月～2016年3月 フランス主要イベントリスト

2015年
2015年3月1日調査。イベント日程や内容は変更の可能性あり。調査時に2015年の日程が未発表のものは2014年の日程を表記した。

月	場所	イベント名	種類	日程	URL
4月	サン・ティエンス	Biennale Internationale Design Saint-Etienne 第9回デザイン・ビエンナーレ	アート	3/12-4/12 (隔年開催)	www.biennale-design.com/saint-etienne
	ヴェルサイユ	Les grandes eaux musicales de Versailles ヴェルサイユ城の大噴水ショー	スペクタクル	3/28-11/1	www.chateauversailles-spectacles.fr
	バイヨンヌ	Foire au Jambon 生ハム祭り	ガストロノミー	4/2-4/5	www.bayonne-tourisme.com
	カンヌ	Cannes Shopping Festival カンヌ・ショッピング・フェスティバル	ショッピング	4/3-4/5	www.cannesshoppingfestival.com
	アルル	Feria de Pâques 春の闘牛	伝統	4/3-4/6	www.arenas-arles.com
	ピュイ・デュ・フー	Cinésclénie du Puy-du Fou ピュイ・デュ・フー音と光のスペクタクル	伝統	4/10-9/27	www.puydufou.com
	シャルトル	Chartres en Lumières シャルトル・アン・リュミエール (イルミネーション)	フェスティバル	4/11-10/10	www.chartresenlumieres.com
	パリ	Marathon de Paris パリ マラソン	スポーツ	4/12	www.parismarathon.com
	ボルドー	Marathon de Bordeaux ボルドー・メトロポール・マラソン (夜間に走るマラソン)	スポーツ	4/18	www.marathondebordeauxmetropole.com
	ブルージュ	Printemps de Bourges プランタン・ド・ブルージュ	音楽	4/24-4/29	www.printemps-bourges.com
	ショーモン・シュル・ロワール	Festival international des Jardins 国際庭園フェスティバル	フェスティバル	4/23-11/1	www.domaine-chamont.fr/
	オルレアン	Fête de Jeanne d'Arc ジャンヌ・ダルク祭	伝統	4/29-5/8	www.fetesjeannedarc.com
5月	ニーム	Les Grands jeux romains グラディエーターの戦い	イベント	5/2-5/3	www.arenas-nimes.com
	アルル	Reine d'Arles アルルの女王選出	伝統	3年に1度、 次回は2017年	www.reinedarles.com/
	カンヌ	Festival de Cannes カンヌ国際映画祭	映画	5/13-5/24	www.festival-cannes.com
	バイヨンヌ	Journées du chocolat ショコラ・デー	ガストロノミー	5/15-5/16	www.bayonne-tourisme.com
	サン・トロペ	La Bravades à Saint-Tropez ラ・ブラバード祭	伝統	5/16-5/18	www.bravade-saint-tropez.fr
	ニーム	Feria de Pentecôte 聖霊降臨祭の闘牛	伝統	5/20-5/25	http://www.ot-nimes.fr/
	ボルドー	Bordeaux fête le fleuve ボルドー河祭り (ワイン祭りと交互に隔年開催)	伝統	5/22-5/30	www.bordeauxfetelefleuve.com
	パリ	Tournoi de Roland-Garros ローラン・ガロス全仏オープン (テニス)	スポーツ	5/24-6/7	www.rolandgarros.com
	サント・マリー・ド・ラ・メール	Le grand pèlerinage de Saintes Maries de la Mer ジブシーの祭	伝統	5/24-5/26	http://www.camargue.fr/pages/pelrina.html
	サン・レミ・ド・プロヴァンス	Fête de la Transhumance 移牧祭	伝統	5/25	www.saintremy-de-provence.com
	ルーアン	Fête de Jeanne d'Arc ジャンヌ・ダルク祭	伝統	5/30-5/31	www.rouentourisme.com
	スミュール・アン・オーソワ	Fête de la Bague 指輪 (競馬+大市)	スポーツ	5/31 (毎年同日)	www.ville-semur-en-auxois.fr
6月	ランス	Fêtes Johanniques de Reims ジャンヌ・ダルク祭	伝統	6/6-6/7	http://www.reims-tourisme.com

月	場所	イベント名	種類	日程	URL
6月	リヨン	Les Nuits de Fourvière フルヴィエールの夕べ	音楽	6/3-8/2 (2014)	間もなく詳細発表
	フランス全土	Rendez-vous aux jardins 庭園の集い	フェスティバル	6/5-7	www.rendezvousauxjardins.culture.fr
	ノアン	Festival de Nohant ノアン・フェスティバル	音楽	6/6-7/22	www.festivalnohant.com
	ル・マン	24 heures du Mans ル・マン 24 時間耐久レース	スポーツ	6/13-6/14	www.24h-lemans.com
	プロヴァンス	La fête médiévale 中世祭	伝統	6/13-6/14	www.provins-medieval.com
	ボルドー	Vinexpo à Bordeaux ボルドーワイン展	見本市	6/14-6/18	http://www.vinexpo.com/fr/
	ル・ブルジェ (パリ近郊)	Salon international de l'aéronautique et de l'espace Paris le Bourget パリ国際航空宇宙ショー	見本市・フェア	6/15-6/21	www.paris-air-show.com
	ヴェルサイユ	Les Grandes Eaux Nocturnes ヴェルサイユ城の夜の噴水ショー	スペクタクル	6/20-9/19	www.chateauversailles-spectacles.fr/
	フランス全土	Fête de la musique 音楽の日	音楽	6/21	www.fete-musique.net/
	ニーム	Festival de Nîmes ニーム・フェスティバル	音楽	6/24、7/2、9、15、16、20、22	www.festivaldenimes.com
	フランス全土	Soldes d'été 夏のバーゲン	ショッピング	6/24-8/4	(例外県あり)
	タラスコン	Fête de la Tarasque タラスク祭	伝統	6/27-6/29	
7月	ヴィエンヌ	Jazz à Vienne ヴィエンヌ・ジャズ・フェスティバル	音楽	6/26-7/11	www.jazzavienne.com/
	パリその他の都市	La Marche des fierteés lesbiennes, gaies, bi et trans (Ex-Gay Pride) ゲイ・プライド	パレード	6/29	www.marche.inter-lgbt.org
	ロクロナン	Pardon de la Grande Troménie バルドン祭 トロメニー	伝統	7月	www.locronan.org
	ナント	Le Voyage à Nantes ル・ヴォワイヤー・ジュ・ア・ナント	フェスティバル	7/3-8/30	www.levoyageanantes.fr/
	カルカッソンヌ	Festival de Carcassonne カルカッソンヌ・フェスティバル	音楽	7/6-8/1	www.festivaldecarcassonne.fr/
	モン・サン・ミッシェル	Parcours nocturne à l'Abbaye du Mont Saint Michel モン・サン・ミッシェル 修道院の夜間散策	伝統	7/11-8/29	www.mont-saint-michel.monuments-nationaux.fr
	ル・マン	La nuit des chimères キマイラの夜 (旧市街7ヶ所の3D マッピングイベント)	フェスティバル	7/1-8/31	www.nuitdeschimeres.com/
	パリ	Japan Expo ジャパン・エキスポ	フェスティバル	7/2-7/5	www.japan-expo.com
	エクス・アン・プロヴァンス	Festival d'Aix en Provence エクス・アン・プロヴァンス音楽祭	音楽	7/2-7/21	www.festival-aix.com
	ベルフォール	Les Eurockennes de Belfort ユーロケン・ド・ベルフォール	音楽	7/3-7/5	www.eurockennes.fr/
	アヴィニョン	Festival d'Avignon アヴィニョン演劇フェスティバル	文化、フェスティバル	7/3-7/26	www.festival-avignon.com/
	コルマール	Festival international de Colmar コルマール音楽祭	音楽	7/3-7/14	www.festival-colmar.com/

月	場所	イベント名	種類	日程	URL
7 月	バイユー	Fêtes médiévales 中世祭り	伝統	7/4-7/5	http://fetesmedievaales.bayeux.fr/
	アルル	Rencontres internationales de photographie d'Arles アルル国際写真展	アート	7/6-9/20	www.rencontres-arles.com/
	ニース	Nice Jazz Festival ニース・ジャズフェスティバル	音楽	7/7-7/12	www.nicejazzfestival.fr/
	オランジュ	Les Chorégies d'Orange オランジュ音楽祭	音楽	7/7-8/4	www.choregies.fr
	ラ・ロシェル	Les Francofolies フランコフォリー音楽フェスティバル	音楽	7/10-7/14	www.francofolies.fr
	フランス全土	Fête Nationale フランス革命記念日	伝統	7/14	
	ジュアン・レ・パン/ アンティーブ	Jazz à Juan ジュアン・レ・パン・ジャズ・フェスティバル	音楽	7/15-7/19	www.jazzajuan.com/
	カレ＝ブルゲ (ブルターニュ)	Le Festival des Vieilles Charrues ヴィエーユ・シャリュ・ロックフェスティバル	音楽	7/16-7/19	www.vieillescharrues.asso.fr
	カンパール	Le "Cornouaille" quimper コルヌアイユ祭	伝統	7/21-7/26	www.festival-cornouaille.com
	ラ・ロック・ ダンテロン	Le Festival international de piano de la Roque d'Antheron ロック・ダンテロン・ピアノフェスティヴァル	音楽	7/24-8/23	www.festival-piano.com
8 月	マルシアック	Festival de Jazz à Marciac マルシアック・ジャズフェスティバル	音楽	7/26-8/15 予定	www.jazzinmarciac.com
	バイヨンヌ	Fêtes de Bayonne バイヨンヌ祭り	伝統	7/29-8/2	www.fetes.bayonne.fr
	サン・ブルサン・ シュル・シウル	76 ^e Semaine Fédérale de Cyclotourisme 76 回シクロツーリズム週間	スポーツ	8/2-8/9	http://sf2015.ffct.org
	コルマール	Foire aux vins d'Alsace アルザスワイン見本市	ガストロノミー、 見本市	8/7-8/16	www.foire-colmar.com
	コンカルノー	Le Festival des Filets Bleus 青網祭り	伝統	8/12–8/15	www.festivaldesfiletsbleus.fr
	アジャクシオ	Les Fêtes Napoléoniennes ナポレオン祭り	伝統	8/13–8/15 (2014)	www.ajaccio-tourisme.com/
	マルレンアイム	Mariage de l'Ami Fritz 友人フリッツの婚礼祭	伝統	8/14–8/15	www.mariage-ami-fritz.fr
	シャモニー	Fêtes de Guides ガイド祭	伝統	8/15	www.fetedesguides.com
	メッス	Fête de la mirabelle ミラベル祭り	伝統	8/23-9/6	www.fetesdelamirabelle.fr/
	シャモニー	Ultra trail du Mont Blanc ウルトラ・トレイル・デュ・モン・ブラン	スポーツ	8/24-8/30	www.ultra trailmb.com
9 月	ディジョン	Fête de la vigne ワイン祭り	ガストロノミー、 伝統	【隔年開催 次回は 2016 年】	http://www.fetesdelavigne.fr/
	サン・クルー (パリ 近郊)	Rock en Seine ロック・アン・セーヌ	音楽	8/28-8/30	www.rockenseine.com
	エギサイム	Fête des vignerons ワイン祭り	ガストロノミー、 伝統	8/29-8/30	www.ot-eguisheim.fr
	アヴィニオン	Le ban des vendanges 第 20 回ぶどう摘み宣言	伝統	8/29 もしくは 9/5	http://www.avignon-tourisme.com/
	トゥールーズ	Festival Piano aux Jacobins ジャコバン・ピアノ・フェスティバル	音楽	9/3-9/30 (2014)	www.pianojacobins.com/
	パリ	Maison & Objet メゾン・エ・オブジェ	見本市・フェア	9/4-9/8	www.maison-objet.com
	ドーヴィル	Festival du Cinéma Américain 第 40 回アメリカ映画祭	映画	9/4–9/13	www.festival-deauville.com

月	場所	イベント名	種類	日程	URL
9 月	リール	La Grande Braderie de Lille リール古物市	ショッピング	9/6	www.braderie-lille-2013.fr
	トゥール	La Grande Braderie de Tours トゥール古物市	ショッピング	9/6	www.tours.fr
	エヴィアン	Evian Master エヴィアン・マスターズ	スポーツ	9/10-9/13	www.evianmasters.com
	リヨン	Biennale de la danse de Lyon リヨン現代アートビエンナーレ	アート	9/10-2016/1/3	www.biennale-de-lyon.org/
	アルル	Féria du Riz 秋の闘牛	伝統	9/11-9/13	www.arenas-arles.com
	メドック地区	Marathon du Médoc メドック・マラソン	スポーツ	9/12	www.marathondumedoc.com
	フランス全土	Journées Européennes du Patrimoine 欧州文化遺産の日	フェスティバル	9/12–9/13	www.journeesdupatrimoine.culture.fr/
	ミュルーズ	Mondial de la Bière ビール国際展	ガストロノミー、 フェア	9/17-9/20	www.festivalmondialbiere.qc.ca
	ニーム	Féria des Vendanges 収穫の闘牛祭	伝統	9/16-9/20	www.ot-nimes.fr/evenements/les-incontournables/
	サン・テミリオン	Le Ban des Vendanges de la Jurade ブドウ摘み宣言	伝統	9/20	http://www.saint-emilion-tourisme.com/
10 月	ムージャン	Les Etoiles de Mougins, Festival International de la Gastronomie 国際ガストロノミーフェスティバル	ガストロノミー	9/18-9/21	www.lesetoilesdemougins.com/
	フランス全土	Tous au restaurant フランスレストランウィーク	ガストロノミー	9/24-10/4	www.tousaurestaurant.com
	オルレアン	Festival de Loire ロワール河祭り	伝統	9/23-9/27	http://www.orleans.fr/festival-de-loire-2013/presentation.html
	フランス全土	Fête de la gastronomie 美食の祭典	ガストロノミー	9/25-9/27	http://www.fete-gastronomie.fr/fr/
	トゥールーズ	Festival International de Toulouse les Orgues 第 20 回国際オルガンフェスティバル	音楽	10/7-18	http://www.toulouse-les-orgues.org/
	パリ	Qatar Prix de l'Arc de Triomphe 第 94 回凱旋門賞	スポーツ	10/3-10/4	www.prixarcdetriomphe.com/
	パリ	Mondial de l'Automobile パリ・モーターショー	見本市・フェア	【偶数年開催 2015 年は開催なし】	www.mondial-automobile.com
	パリ	Nuit Blanche ヌイ・ブランシュ	アート、 フェスティバル	10/4 (2014)	http://nuitblanche.paris.fr/
	リヨン	Run In Lyon リヨン・マラソン	スポーツ	10/4	www.runinlyon.com
	パリ	Fête des Vendanges à Montmartre モンマルトルのブドウ収穫祭	伝統、 ガストロノミー	10/7-10/11	www.fetedesvendangesdemontmartre.com
11 月	フランス全土	Semaine du goût 味覚週間	ガストロノ ミー	10/12–10/18	www.legout.com/
	ルーアン	Fête du Ventre et de la Gastronomie normande ノルマンディー食の祭典	ガストロノ ミー	10 月第 3 週末	http://feteduventre.com/
	パリ	FIAC (Foire Internationale d'Art Contemporain) パリ国際アート見本市	アート	10/22-10/25	http://www.fiac.com/a-paris-pendant-la-fiac.html
	ドーヴィル	Planche(s) Contact ドーヴィル写真フェスティバル「ブランシュ・コンタクト」	アート	10/25-11/30 (2014)	www.deauville-photo.fr
	パリ	Le Salon du Chocolat サロン・デュ・ショコラ	ガストロノミー、 伝統	10/28-11/1	www.salonduchocolat.fr
	ディジョン	Foire Internationale et Gastronomique de Dijon ディジョン国際ガストロノミー見本市	ガストロノミー	10/30-11/11	www.foirededijon.com/
	パリ	Paris Photo 2015 パリ・フォトフェスティバル	アート	11/12-11/15	http://www.parisphoto.com/ ? lg = en

月	場所	イベント名	種類	日程	URL
11 月	フランス全土、世界中	Beaujolais Nouveau ボージョレ・ヌーヴォー解禁日	ガストロノミー	11/19	
	ボーヌ	Festivités de la Vente des Vins des Hospices de Beaune ボーヌ・ワイン競売会とワイン祭り	伝統	11/20-11/22)	www.beaune-tourisme.fr
	ナント	Festival des 3 Continents 3 大陸映画祭	映画	11/25–12/2 (2014)	www.3continents.com/
	フランス全土	Marchés de Noël マルシェ・ド・ノエル	伝統	11 月下旬～12 月末 (地域や町で日程異なる)	www.marches-noel.org/france/index.html
	フランス全土	Illuminations de Noël クリスマスのイルミネーション	伝統	11 月下旬-1 月初旬	
12 月	レンヌ	Les Transmusicales de Rennes トランス・ミュージカル・ド・レンヌ	音楽フェス	12/3-12/7 (2014)	www.lestrans.com/
	リヨン	Fête des Lumières 光の祭典	伝統	毎年 12/8 前後 4 日間	www.fetedeslumieres.lyon.fr
	ナンシー	Saint-Nicolas et la magie de décembre 聖ニコラの祭り	伝統	12/5-12/6	www.ot-nancy.fr
	イッシー・レ・ムリノー	Corrida de Noël ランニングイベント	スポーツ	12/13	www.corrida-noel-issy.com

2016年 2015年3月1日調査。イベント日程や内容は変更の可能性あり。
調査時に2016年の日程が未発表のものは2015年の日程を表記した。

月	場所	イベント名	種類	日程	URL
1 月	フランス全土	Soldes d'hiver 冬のバーゲン	その他	1 月 2 週目水曜～ 2 月初旬まで (県により例外あり)	www.service-public.fr
	ダンケルク	Carnaval de Dunkerque ダンケルクのカーニヴァル	伝統	1/10-3/7	http://carnaval-de-dunkerque. info/ https://www.facebook.com/ CarnavalDunkerque2015
	パリ	Maison & Objet メゾン・エ・オブジェ	見本市・フェア	1/23-1/27	www.maison-objet.com
	ブルゴーニュ地方 シャティヨン・ シュル・セーヌ	Saint-Vincent Tournante サン・ヴァンサン・トゥールナント・ワイン祭	伝統、ワイン	1 月末	www.st-vincent-tournante.fr
	パリ、ヴァンセーヌ 競馬場	Prix d'Amérique アメリカ賞	スポーツ	1/25	www.prix-amerique.com
	ナント	La Folle Journée ラ・フォル・ジュルネー	音楽	1/28-2/1	www.follejournee.fr/
	アングレーム	Le Festival de la BD Angouleme マンガフェスティバル	アート	1/29-2/1	www.bdangouleme.com
2 月	トゥールーズ	Fête de la violette トゥールーズのスミレ祭り	伝統	2/7-2/8	www.toulouse-tourisme.com
	ニース	Carnaval de Nice ニース・カーニバル 2015 年のテーマ「音楽の王様」	伝統	2/13-3/1	www.nicecarnaval.com
	マントン	81e Fête du citron - Menton レモン祭り（第 81 回目）テーマ「海底二万里」	伝統	2/14-3/4	www.feteducitron.com
	マンドリュー・ラ・ ナブル	Fête du mimosa ミモザ祭り	伝統	2/18-2/25	www.ot-mandelieu.fr
	トゥーレット・ シュル・ルー	Fête des violettes トゥーレット・シュル・ルーのスミレ祭り	伝統	2/21-2/22	www.tourretessurloup.com
3 月	ニューイ・サン・ ジョルジュ	le 54eme Vente des Vins des Hospices de Nuits-St-Georges 第 54 回ニューイ・サン・ジョルジュ 施療院のワインオークション	ガストロノミー	3/15	www.hospicesdenuits.com
	マルセイユ	Marathon de Marseille マルセイユマラソン	スポーツ	3/15	www.marseillemarathon.fr
	パリ	Salon du livre パリ、ブック・フェア	見本市・フェア	3/20-3/23	www.salondulivreparis.com
	ノルマンディー地方	Festival Normandie Impressionniste ノルマンディー印象派フェスティバル	アート	4/16-9/26	www.normandie-impressionniste.fr

フランス本土のユネスコ世界遺産

PATRIMOINE MONDIAL

文化遺産	モン・サン・ミッシェル及びその湾 Mont-Saint-Michel et sa baie (1979)
	シャルトルのノートル・ダム大聖堂 Cathédrale Notre-Dame de Chartres (1979)
	ヴェルサイユの宮殿と庭園 Palais et parc de Versailles (1979)
	ヴェズレーのサント・マドレーヌ・バジリカ教会と丘 Basilique et colline de Vézelay (1979)
	ヴェゼール渓谷の先史時代史跡群と洞窟壁画群（ラスコーの洞窟） Sites préhistoriques et grottes ornées de la vallée de la Vézère (1979)
	フォンテーヌブロー宮殿と庭園 Palais et parc de Fontainebleau (1981)
	アミアンのノートル・ダム大聖堂 Cathédrale Notre-Dame d'Amiens (1981)
	オランジュのローマ劇場とその周辺及びオランジュ凱旋門 Théâtre antique et ses abords et « Arc de Triomphe » d'Orange (1981)
	アルルのローマ遺跡及びローマเนสク様式建造物群 Arles, monuments romains et romans (1981)
	フォントネーのシトー会修道院 Abbaye cistercienne de Fontenay (1981)
	シュリー・シュル・ロワールとシャロンヌ間のロワール渓谷 Val de Loire entre Sully-sur-Loire et Chalonnes (1981 / 2000)
	天日製塩施設、サラン・レ・パン大製塩所からアルク・エ・スナン王立製塩所まで De la grande saline de Salins-les-Bains à la saline royale d'Arc-et-Senans, la production du sel ignigène (1982 / 2009)
	ナンシーのスタニスラス広場、カリエール広場及びアリアンス広場 Places Stanislas, de la Carrière et d'Alliance à Nancy (1983)
	サン＝サヴァン・シュール・ガルタンブの修道院付教会 Abbatiale de Saint-Savin sur Gartempe (1983)
	ポン・デュ・ガール（ローマの水道橋） Pont du Gard (1985)
	ストラスブールのグラン・ディル Strasbourg – Grande île (1988)
	パリのセーヌ河岸 Paris, rives de la Seine (1991)
	ランスのノートル・ダム大聖堂、サン・レミ旧大修道院及びトー宮殿 Cathédrale Notre-Dame, ancienne abbaye Saint-Rémi et palais du Tau, Reims (1991)
	ブルジュのサン・テティエンヌ大聖堂 Cathédrale Saint-Etienne de Bourges (1992)
	アヴィニオン歴史地区：法王庁宮殿、司教関連建造物群及びサン・ベネゼ橋 Centre historique d'Avignon : Palais des papes, ensemble épiscopal et Pont d'Avignon (1995)
	ミディ運河 Canal du Midi (1996)
	歴史的城塞都市カルカッソンヌ Ville fortifiée historique de Carcassonne (1997)
	リオン歴史地区 Site historique de Lyon (1998)
	フランスのサンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路 Chemins de Saint-Jacques-de-Compostelle en France (1998)
	サン・テミリオン地域 Juridiction de Saint-Émilion (1999)
	ベルギーとフランスの鐘楼群 Beffrois de Belgique et de France (1999 / 2005)
	中世市場都市プロヴァン Provins, ville de foire médiévale (2001)
	ル・アーヴル、オーギュスト・ベレによる再建都市 Le Havre, la ville reconstruite par Auguste Perret (2005)
	ボルドー、月の港 Bordeaux, Port de la Lune (2007)
	ヴォーバンの要塞群 Fortifications de Vauban (2008)
	アルビ司教都市 Cité épiscopale d'Albi (2010)
	コースとセヴェンヌの地中海性農牧地の文化的景観 Les Causses et les Cévennes, paysage culturel de l'agro-pastoralisme méditerranéen (2011)
	アルプス山系の先史時代杭上住居跡群 Sites palafittiques préhistoriques autour des Alpes (2011)
	ノール＝パ・デュ・カレー地方の炭田地帯 Bassin minier du Nord-Pas de Calais (2012)
	アルデッシュ ショーヴェ・ボンダルク洞窟壁画 Grotte ornée du Pont-d'Arc, dite Grotte Chauvet-Pont-d'Arc, Ardèche (2014)

自然遺産	<p>コルシカ：ポルト湾：ヒアナのカランケ、ジロラッタ湾、スカンドラ保護区 Golfe de Porto : calanche de Piana, golfe de Girolata, réserve de Scandola (1983)</p>
複合遺産	<p>ピレネー山脈のペルデュ山 Pyrénées - Mont Perdu (1997 / 1999)</p>

パリと地方を巡る、旬の旅を当てよう！

ペアで2組、フランス旅行が当たるWebキャンペーン

エールフランス航空 東京ーパリ往復航空券と
ルシアン・パリエールのホテル宿泊、フーケッツの食事が付いた豪華旅行



AIRFRANCE

Lucien Barrière
Hôtels & Casinos

Fouquet's

今すぐ検索

春夏秋冬フランス



春夏秋冬、色めくフランス

La France : chaque saison, une émotion

<http://jp.rendezvousenfrance.com>

france
rendezvousenfrance.com

フランス観光開発機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-9 ラウンドクロス赤坂9階

広報担当 増田真由美、森由美子

TEL: (03)3582-0994

Email: presse.jp@atout-france.fr

プレス向けサイト

jp.media.rendezvousenfrance.com

jp.rdvef.com/presse2015

france
rendezvousenfrance.com